

津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事

図面リスト

機械設備工事			電気設備工事		
M-01	機械設備工事特記仕様書 1	M-16	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 2階平面図	E-01	電気設備工事特記仕様書 1
M-02	機械設備工事特記仕様書 2	M-17	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 3階平面図	E-02	電気設備工事特記仕様書 2
M-03	付近見取図・配置図	M-18	特別教室棟 普通教室棟 1階・2階平面図	E-03	電気設備工事特記仕様書 3
M-04	空調設備 機器表	M-19	特別教室棟 普通教室棟 3階平面図	E-04	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 電気設備 1階平面図
M-05	空調設備 系統図	M-20	部分詳細図	E-05	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 電気設備 2階平面図
M-06	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 空調設備 1階平面図			E-06	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 電気設備 3階平面図
M-07	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 空調設備 2階平面図			E-07	特別教室棟 普通教室棟 電気設備 1階・2階・3階平面図
M-08	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 空調設備 3階平面図				
M-09	特別教室棟 普通教室棟 空調設備 1階・2階平面図				
M-10	特別教室棟 普通教室棟 空調設備 3階・R階平面図				
M-11	空調設備 断面図 1				
M-12	空調設備 断面図 2				
M-13	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 空調制御 1階平面図				
M-14	ガス設備 配置図				
M-15	普通教室・特別教室棟 普通教室・管理棟 1階平面図				

株式会社 田端隆建築設計

<p>機械設備工事特記仕様書</p> <p>1 工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事</p> <p>2 工事場所 津市 白塚町 地内</p> <p>3 建築概要 RC造 3階建 消施設の適用</p> <p>4 適用基準 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成28年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものを適用する。</p> <p>5 一般事項 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上り不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p> <p>(1) 提出図書 □建築工事に準じる 1) 工事書類 : ・施工計画書 ・打合記録 ・施工要領書 ・機器使用照 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等 2) 工事完成図書 : ・品質確認書類 ・工事日報 ・工事写真 ・安全・訓練実施記録 ・竣工図（製本4(原寸 2部、A3見開き) 2部) ・機器完成図（ファイル等1部） ・保守に関する説明書（取扱説明書・保証書） 2部 ・機器性能試験成績書 1部 ・総合調整測定表（試験結果・測定結果等） 1部 ・官公署届出書類、検査済証 1部 ・出来形確認書類 1部 等</p> <p>※ 竣工図・竣工図はCADにより作成すること。 ※ 工事写真は普通工事写真撮影要領（平成28年版）に従い撮影すること。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。</p> <p>(2) 機器及び材料等 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機器図書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。</p> <p>(3) 官公署等への届出手続 工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ■本工事(□建築工事 □電気設備工事 ■機械設備工事) □別働工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。</p> <p>(4) 品質管理 工事施工に関して、着事前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。</p> <p>(5) 出来形管理 以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・ 耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・ 基礎寸法 ・ 水平、垂直等 2) 配管・ダクト工事 ・ 支持間隔 ・ 振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・ 排水勾配 ・ 樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ</p> <p>(6) 製品確認 発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する ■ 適用しない</p> <p>(7) 耐震安全性の分類 構造体（ ）類 建築非構造部材（ ）類 建築設備（ ）類</p> <p>(8) 機器の地震力（主要機器） □図示による 機器名 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0） 水槽類 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）</p> <p>その他監督員が指示するもの □適用する ■適用しない</p> <p>(9) 冷媒（フロン類）の回収 □適用する ■適用しない 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・フロン回収行程管理票 ・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。 パッケージ型空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。</p> <p>(10) 中間技術検査 実施回数（ ）回</p>	<p>(11) 発生材の処理等 □建築工事に準じる 1) 引渡しを要するもの（ ） 上記以外の引渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） 3) 現場内において再利用を図るもの □発生土 □その他（ ） 4) 再資源化を図るもの（ □コンクリート塊 □アスファルトコンクリート塊 □建設発生木材 ） 5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。 6) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マフタM、B2、D票を提示すること。）</p> <p>(12) 電気保安技術者 □適用する ■適用しない</p> <p>(13) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 ■一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □指定なし 2) 施工可能時間帯 ■指定なし □指定あり（時～時）</p> <p>(14) 概成工期 建築物等の使用を想定して総合運転調整を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。 ■指定なし □指定あり（平成 年 月 日）</p> <p>(15) 仮設工事 構内既存の施設 □建築工事に準じる 1) 便所 ■利用できる □利用できない 2) 工事用水 □利用できる（有償） ■利用できる（無償） □利用できない 3) 工事用電力 □利用できる（有償） ■利用できる（無償） □利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。</p> <p>(16) 足場 □建築工事に準じる 1) 内脚足場 ■ 脚立 □ 足場板 □ 利用できない 2) 外脚足場 ■ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種 3) 防護シート等による養生 □ 適用する □ 適用しない ※設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>(17) 建築材料等 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。 品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名：) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。 (認定製品の品名： ・間伐材製工専用バリエード・間伐材工事看板・間伐材表示板)</p> <p>(18) 建設副産物 1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に縦じ込んで監督員に提出すること。 また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬出した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出すること。 なお、計画書及び実施書の提出とともにJ A C I C が運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。</p> <p>2) 請負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。</p> <p>(19) 三重県産業廃棄物税 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。</p> <p>(20) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p> <p>(21) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にない復旧すること。</p> <p>(22) 不正軽油の使用の禁止 1) 一般事項 工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。 また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。</p>	<p>(23) その他 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 3) フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成27年4月1日施行）等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。</p> <p>6 工事科目 給排水衛生設備工事 □ 屋外給水設備工事 □ 屋内給水設備工事 □ 屋外排水設備工事 □ 屋内排水通気設備工事 □ 衛生器具設備工事 □ 消火設備工事 □ 給湯設備工事 ■ 屋外ガス設備工事 □ 屋内ガス設備工事 □ 浄化槽設備工事 □ 厨房機器設備</p> <p>空調設備工事 ■ 機器設備工事 □ 換気設備工事</p> <p>7 工事概要 給排水衛生設備工事 (1) 都市ガス設備工事 G H P 空調機への都市ガス配管を行う。 所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10K を使用する。</p> <p>空調設備工事 (1) 機器設備工事 本工事は、空冷ヒートポンプエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。 各機器の据付・運転調整を含めて機器設備工事とする。 空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件</p> <table border="1" data-bbox="1573 777 1958 882"> <tr> <td></td> <td></td> <td>乾球温度℃</td> <td>湿球温度℃</td> <td>相対湿度%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外気条件</td> <td>夏期</td> <td>34.5</td> <td>27.3</td> <td>57.6</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>1.7</td> <td>-1.3</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">室内条件</td> <td>夏期</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>成行き</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>22</td> <td>-</td> <td>成行き</td> </tr> </table> <p>(2) 配管設備工事 各機器間のドレン、冷媒配管をおこなうものとし、配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。</p> <p>(3) 空調制御設備工事 集中管理設置に伴い付帯する計装配管、配線を行う。</p> <p>8 総合調整 (1) 風量調整 □ 適用する ■ 適用しない (2) 水量調整 □ 適用する ■ 適用しない (3) 室内外空気の温度測定 ■ 適用する □ 適用しない (4) 室内外空気の湿度測定 ■ 適用する □ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する ■ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する ■ 適用しない (7) 飲料水の水质の測定(水道法施行規則第10条による水质検査) □ 適用する ■ 適用しない のうち 一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度 について測定を行なうこと。 ※遊離残留塩素 については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行なうこと。</p> <p>(8) その他（ ） □ 適用する □ 適用しない</p>			乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%	外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6	冬期	1.7	-1.3	49.6	室内条件	夏期	26	-	成行き	冬期	22	-	成行き	<p>9 工事科目 (1) 配管材料 部分的に配管種類を変更する場合は、図面に明記すること。</p> <p>□ 給水管 □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116 （一般：SGP-VB 地中：SGP-VD） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 （一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD） ※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 ※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(工場加工)とする。 □ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 （一般・地中：H1VP） □ 水道配水用ポリエチレン管 JWWA K 144 （地中：PE） □ 水道用ステンレス鋼管JWWA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448 ※ 地中埋設管は、取出し位置の6L面又はSL、FL面より+100cm以上上げた所までとする。</p> <p>□ 雑排水管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 （地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 土間・一般：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>□ 通気管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 （地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き） □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>□ 汚水管 □ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上MD継ぎ手 JPF MDJ 002 □ 土間・一般：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>□ 鉛管 □ 排水・通気用鉛管 SHASE-S203</p> <p>□ 給湯管 □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 （一般：SGP-HVA 地中：NH1LP 内外面耐熱性硬質塩化ビニル管） □ 水道用ステンレス鋼管JWWA G 115 □ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448</p> <p>■ ガス管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 土間：塩化ビニル被覆鋼管(黒) □ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 （地中：PE） ※ 地中埋設管は、取出し位置の6L面又はSL、FL面より+100cm以上上げた所までとする。 ■ ガス事業者の供給規定に準じる</p> <p>□ 消火管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VS は、取出し位置の6L面又はSL、FL面より+100cm以上上げた所までとする。</p> <p>□ 屋外埋設排水 □ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (RE P-VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品） （1類水路用遠心力鉄筋コンクリート管）</p> <p>□ 冷温水配管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 （一般：SGP-HVA)</p> <p>□ 冷却水管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K116（一般：SGP-VA、VVB） □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB)</p> <p>■ ドレン管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・カラーVP) ■ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管 □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 RF-VPは屋外露出不可。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管RF-VP)規格品 に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p> <p>■ 冷媒管 □ 鋼及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mm(液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは8mmとしてよい)とする。 ※ 冷媒用鋼管の内厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。</p> <p>□ 油管 □ 配管用炭素鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合 □ 蒸気管 □ 配管用炭素鋼管(黒) JIS G 3452 □ プライン管 □ 配管用炭素鋼管(黒) JIS G 3452</p> <p>※ 弁類 揚水ポンプ（二次側）、消火ポンプ（二次側）、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5Kとする。 塩化ビニル管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。</p>
		乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%																						
外気条件	夏期	34.5	27.3	57.6																						
	冬期	1.7	-1.3	49.6																						
室内条件	夏期	26	-	成行き																						
	冬期	22	-	成行き																						
<p>備考</p>	<p>設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆</p> <p>設計担当者 一級建築士 No.352551 田端 隆</p>	<p>SCALE A2 : N/S A3 : N/S DATE</p>	<p>工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事 図面名称 機械設備工事特記仕様書 1 M-01 原図：A2</p>																							

※ 横走り管の吊り間隔

銅管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火2層管 銅管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鋼鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
銅管	-	50A~100A	125A~
鋼鉄管			
ビニル管 耐火2層管 銅管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

- (2) ダクト工事
- 矩形ダクト □ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 □ アングルフランジ工法
□ 共板フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト □ スパイラルダクト
□ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

- (3) 保温塗装工事
- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- | | | | |
|-----------------|---------------------------|-----------|--------------|
| ■ グラスウール保温材 | 保温筒 JIS A 9504 2号 40K | | |
| (屋内一般等) | 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K | | |
| □ 給水管 | □ 排水管 | □ 給湯管 | □ 温水管 |
| □ 蒸気管 | □ 冷水・冷温水管 | ■ 冷媒管 | □ |
| (屋外等) | | | |
| □ 給湯管 | □ 温水管 | □ 蒸気管 | □ 冷水・冷温水管 |
| □ 冷媒管 | □ | □ | □ |
| □ ロックウール保温材 | 保温板、保温帯、ブランケット | | |
| (防火区画貫通部等) | 1号JIS A 9504 | | |
| □ 給水管 | □ 排水管 | □ 給湯管 | □ 温水管 |
| □ 蒸気管 | □ 冷水・冷温水管 | □ 冷媒管 | □ 消火管 |
| □ ポリスチレンフォーム保温材 | 保温筒 JIS A 9511 3号 | | |
| (屋内一般等) | 保温板 JIS A 9511 3号 | | |
| □ 給水管 | □ 排水管 | □ 冷水・冷温水管 | □ 冷水管 (2~4℃) |
| □ ブライン管 | □ | □ | □ |
| (屋外等) | | | |
| □ 給水管 | □ 排水管 | □ 給湯管 | □ 冷水・冷温水管 |
| □ ブライン管 | □ 消火管 | □ | □ |
| □ 調合ベント塗り塗料 | JIS K 5516 (合成樹脂調合ベント) 1種 | | |
| (露出) | | | |
| □ 給水管 | □ 排水管 | □ 通気管 | □ ドレン管 |
| □ ガス管 | □ 消火管 | □ 油管 | □ 冷却水管 |

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
ブライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出【機械室、書庫、倉庫】、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、銅板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出【一般居室、廊下】)、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)	
75mm	煙導(ロックウール)	

3) 種別
給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7A51* 5A70R仕上
天井内・P S内	7A51* 3A化絶保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ	
暗渠内(ビツ内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7A51* 5A70R
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ビツ内)の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	#15F107H4	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	#15F107H4	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	#15F107H4	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内(ビツ内)	保温筒	鉄線	#15F107H4	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	#15F107H4	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
□ 保温化粧ケース仕上 □ ポリスチレン成形の、SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 銅板製タンク	紙	保温帯	ポリエチレン フィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダ 温水・膨張・還水 貯湯タンク	紙	保温帯	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)	
温水・蒸気ヘッダ 熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
消音チャンパー、エルボ	紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	カラー鉄板	
煙道	フランケット	鉄線			

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施した平ラソ0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種別	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ベント	1	1	1	下塗りはさび止めベント
黒管	露出	調合ベント	2	1	1	下塗りはさび止めベント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベント2回塗りを行う。

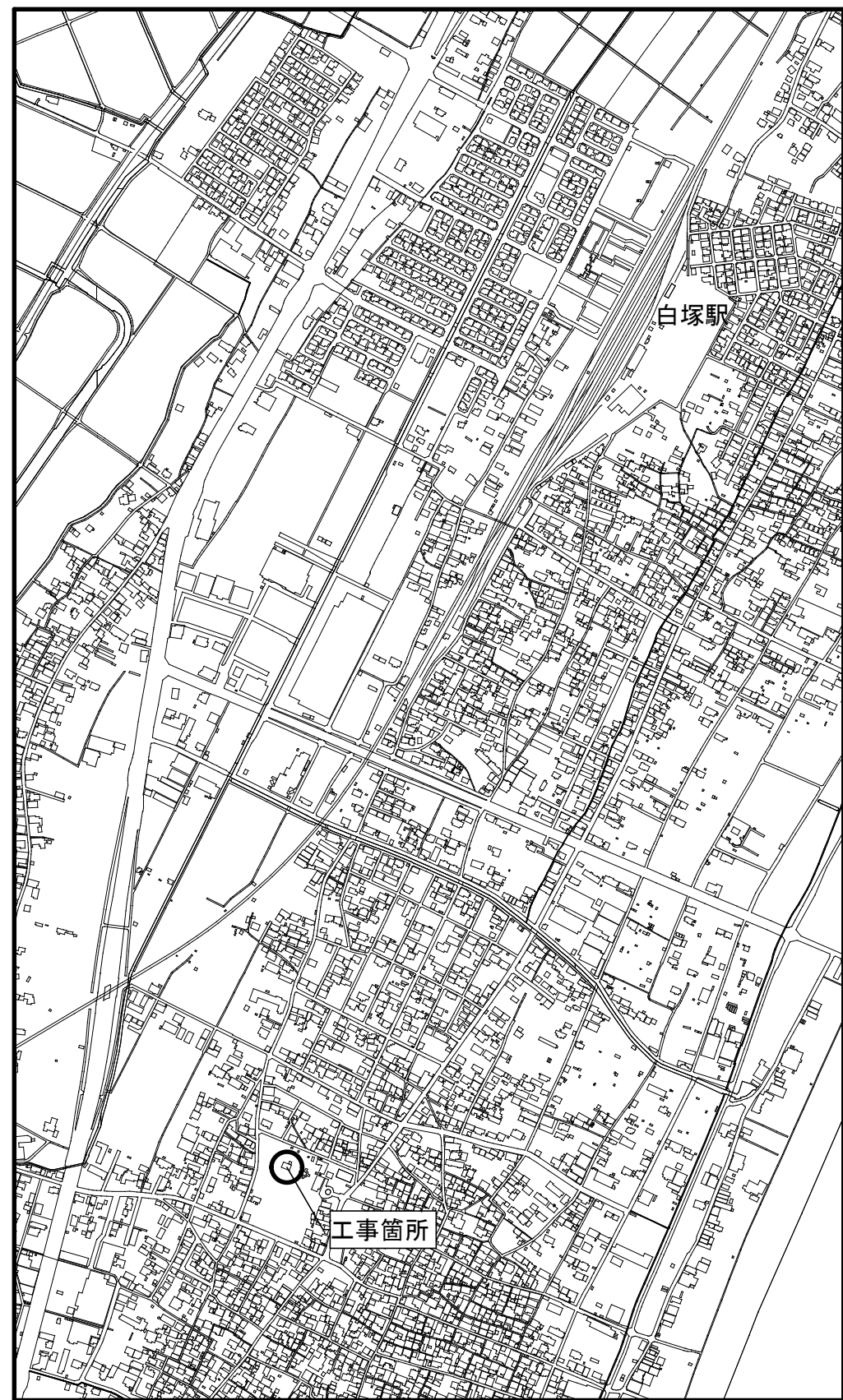
- 4) 施工
ダクト保温施工範囲
1. SA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. EA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. RA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. OA □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
- チャンパー内貼施工 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

- (4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(美管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

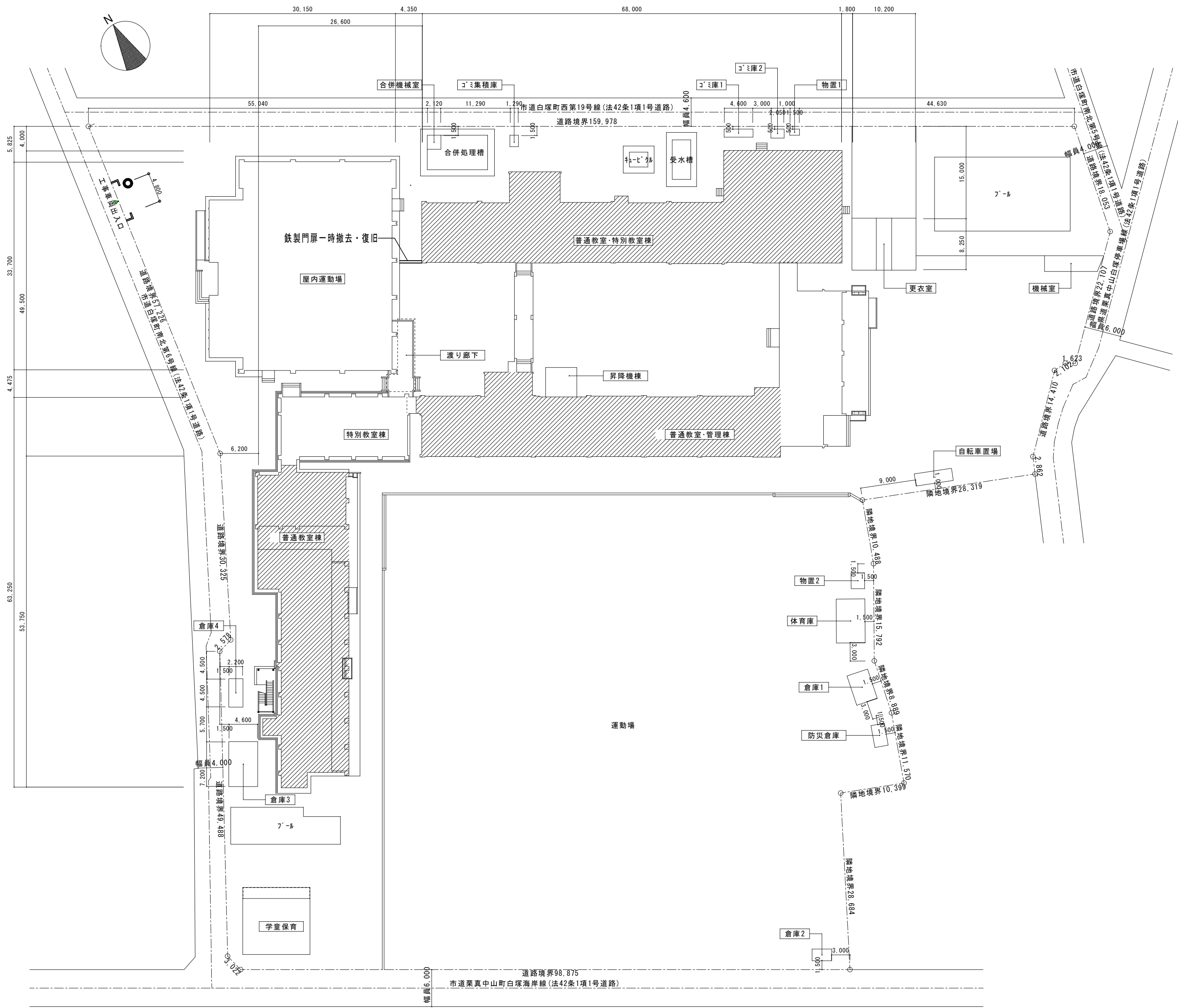
- 共通事項
- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
 - 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
 - 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
 - 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
 - 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
 - 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
 - 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工管理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
 - 雨がかり部に取り付けるガリのチャンパーには、水抜きを設けること。
 - 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
 - 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
 - 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
 - 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
 - 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げするなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒筋を使用する。
 - 屋外露出及び多湿箇所(トレンチビツ等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
 - 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
 - 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
 - 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
 - 建設発生土は場外自由処分とすること。

施工方法に関する事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承認を得ること。
- ※ 現場作業着手までの敷地内調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、また休日等の行事に影響を与えない範囲とする。
- ※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
- ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ※ 安全対策として、作業範囲にはコーンバー等を設置すること。
- ※ 側溝、樹等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
- ※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け安全確保に十分配慮すること。
- ※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
- ※ 工事着手前には、現況状況把握のために破損箇所等があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
- ※ 本工事の現場施工にあたっては学校運営に支障のないように、土日祝日等休日に施工を行うようにすること。ただし、平日であっても授業等に影響のない範囲に限り施工を行うことを認める。
- ※ 給食室内で作業を行う場合は衛生管理のため原則として長期休暇期間とする。ただし、軽微な作業等で給食室管理者の許可が得られる場合はこの限りではない。
- ※ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。



付近見取図 S=1/10000



配置図 S=1/500

凡例

- 交通誘導員配置箇所 (大型車両進入時)
- ▨ 対象建築物

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
 一級建築士
 No.134324
 構造設計一級建築士
 No.2300
 田端 隆

設計担当者
 一級建築士
 No.352551
 田端 達也

SCALE
 A2 : 1/500
 A3 : 1/700
 DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 付近見取図・配置図

M-03
 原図: A2

空調凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
— R —	冷媒管		空調室内機	RS	集中管理リモコン
— D —	ドレン管		空調室外機		

空調機器表 形式 ガスヒートポンプ式：ガスは都市ガス仕様とする

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
			相(φ)	電圧(V)	ガスエンジン出力(kW)	送風機			
GHP-1	マルチエアコン 連結設置タイプ 室外機	形式 室外機	1	200	12.4	---	0.321	1	設置場所：屋外
		冷房能力	56.0	kW					
		暖房能力	63.0	kW					
		最大暖房低温能力	63.0	kW					
		冷房消費電力	0.914	kW					
		暖房消費電力	0.628	kW					
		冷房燃料消費量	44.6	kW					
		暖房燃料消費量	43.6	kW					
		形式 室外機	1	200	10.0	---	0.255	1	設置場所：屋外
		冷房能力	45.0	kW			0.321		
		暖房能力	50.0	kW					
		最大暖房低温能力	50.0	kW					
		冷房消費電力	0.645	kW					
		暖房消費電力	0.505	kW					
冷房燃料消費量	37.8	kW							
暖房燃料消費量	34.9	kW							
付属品	分岐ジョイント、臭気低減機能、他付属品一式								
基礎	詳細図参照								
GHP1-1	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.31	---	2	設置場所： 2階特別教室棟・普通教室 3階特別教室棟・普通教室
		冷房能力	16.0	kW					
		暖房能力	18.0	kW					
		冷房消費電力	0.343	kW					
		暖房消費電力	0.343	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、他付属品一式						
GHP1-2	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.31	---	2	設置場所： 2階特別教室棟・普通教室 3階特別教室棟・普通教室
		冷房能力	16.0	kW					
		暖房能力	18.0	kW					
		冷房消費電力	0.343	kW					
		暖房消費電力	0.343	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ、他付属品一式						
GHP1-3	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.15	---	2	設置場所： 1階特別教室棟・理科室
		冷房能力	14.0	kW					
		暖房能力	16.0	kW					
		冷房消費電力	0.253	kW					
		暖房消費電力	0.253	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、他付属品一式						
GHP-2	マルチエアコン 連結設置タイプ 室外機	形式 室外機	1	200	12.4	---	0.321	1	設置場所：屋外
		冷房能力	56.0	kW			0.431		
		暖房能力	63.0	kW					
		最大暖房低温能力	63.0	kW					
		冷房消費電力	0.914	kW					
		暖房消費電力	0.628	kW					
		冷房燃料消費量	44.6	kW					
		暖房燃料消費量	43.6	kW					
		形式 室外機	1	200	15.7	---	0.499	1	設置場所：屋外
		冷房能力	71.0	kW			0.572		
		暖房能力	80.0	kW					
		最大暖房低温能力	80.0	kW					
		冷房消費電力	1.19	kW					
		暖房消費電力	0.744	kW					
冷房燃料消費量	62.3	kW							
暖房燃料消費量	61.7	kW							
付属品	分岐ジョイント、臭気低減機能、他付属品一式								
基礎	詳細図参照								
GHP2-1	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.31	---	5	設置場所： 2階普通教室 3階普通教室
		冷房能力	16.0	kW					
		暖房能力	18.0	kW					
		冷房消費電力	0.343	kW					
		暖房消費電力	0.343	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、他付属品一式						
GHP2-2	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.091	---	6	設置場所： 2階特別支援教室 3階特別支援教室
		冷房能力	8.0	kW					
		暖房能力	9.0	kW					
		冷房消費電力	0.112	kW					
		暖房消費電力	0.112	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、ドレンアップメカ、他付属品一式						

空調機器表 形式 ガスヒートポンプ式：ガスは都市ガス仕様とする

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
			相(φ)	電圧(V)	ガスエンジン出力(kW)	送風機			
GHP-3	マルチエアコン 連結設置タイプ 室外機	形式 室外機	1	200	12.4	---	0.321	1	設置場所：屋外
		冷房能力	56.0	kW			0.431		
		暖房能力	63.0	kW					
		最大暖房低温能力	63.0	kW					
		冷房消費電力	0.914	kW					
		暖房消費電力	0.628	kW					
		冷房燃料消費量	44.6	kW					
		暖房燃料消費量	43.6	kW					
		形式 室外機	1	200	15.7	---	0.499	1	設置場所：屋外
		冷房能力	71.0	kW			0.572		
		暖房能力	80.0	kW					
		最大暖房低温能力	80.0	kW					
		冷房消費電力	1.19	kW					
		暖房消費電力	0.744	kW					
冷房燃料消費量	62.3	kW							
暖房燃料消費量	61.7	kW							
付属品	分岐ジョイント、臭気低減機能、他付属品一式								
基礎	詳細図参照								
GHP3-1	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.31	---	4	設置場所： 2階普通教室・特別教室棟 3階普通教室・特別教室棟
		冷房能力	16.0	kW					
		暖房能力	18.0	kW					
		冷房消費電力	0.343	kW					
		暖房消費電力	0.343	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、他付属品一式						
GHP3-2	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.15	---	2	設置場所： 3階図工室・特別教室棟
		冷房能力	14.0	kW					
		暖房能力	16.0	kW					
		冷房消費電力	0.253	kW					
		暖房消費電力	0.253	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、他付属品一式						
GHP3-3	マルチエアコン 室内機	形式 天井吊下げ形	1	200	---	0.15	---	2	設置場所： 1階家庭科室・特別教室棟
		冷房能力	11.2	kW					
		暖房能力	12.5	kW					
		冷房消費電力	0.237	kW					
		暖房消費電力	0.237	kW					
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、他付属品一式						
集中管理リモコン：カラー液晶・タッチパネル・グループ制御・個別ノード運転・停止・以上表示・温度設定			1	100				1	設置場所：職員室
遠隔監視アダプター			1	200				1	設置場所：屋外

注記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。
 空調機トランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
 リモコン配線共本工事とする。室外機は(SUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。)
 室外機は防振ゴムシート(t=10以上)を敷くこと。機器は同等品以上とする。
 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。

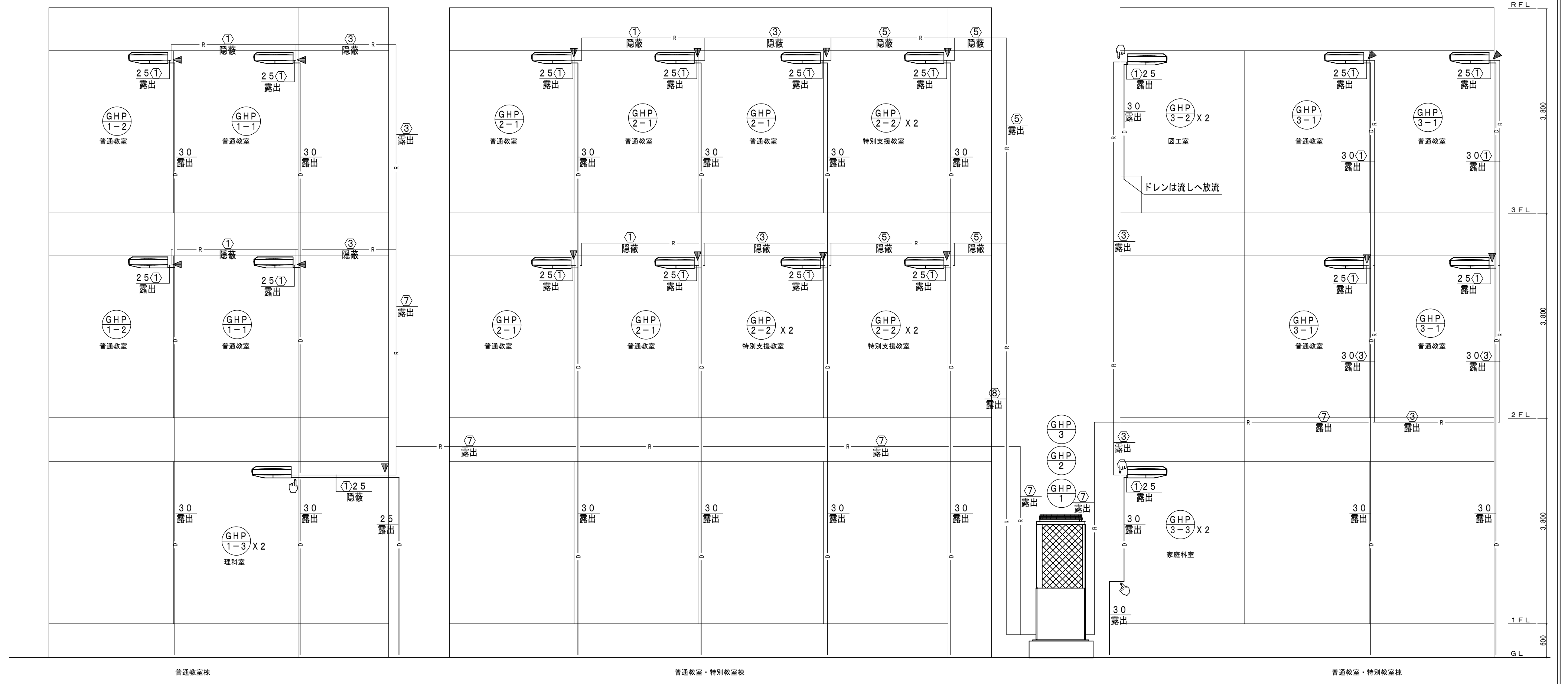
(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	CVVS1.25'-2C
②	19.1φ	9.5φ	CVVS1.25'-2C
③	22.2φ	9.5φ	CVVS1.25'-2C
④	28.6φ	12.7φ	CVVS1.25'-2C
⑤	28.6φ	15.9φ	CVVS1.25'-2C
⑥	31.8φ	15.9φ	CVVS1.25'-2C
⑦	31.8φ	19.1φ	CVVS1.25'-2C
⑧	38.1φ	19.1φ	CVVS1.25'-2C

* 連絡配線は冷媒共巻きとする

工事凡例

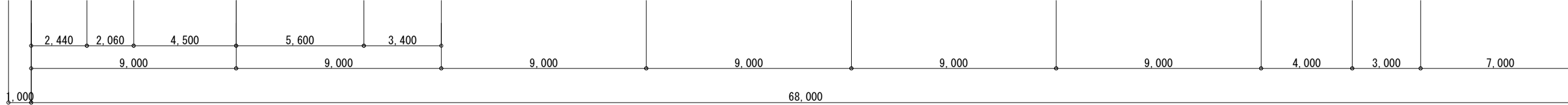
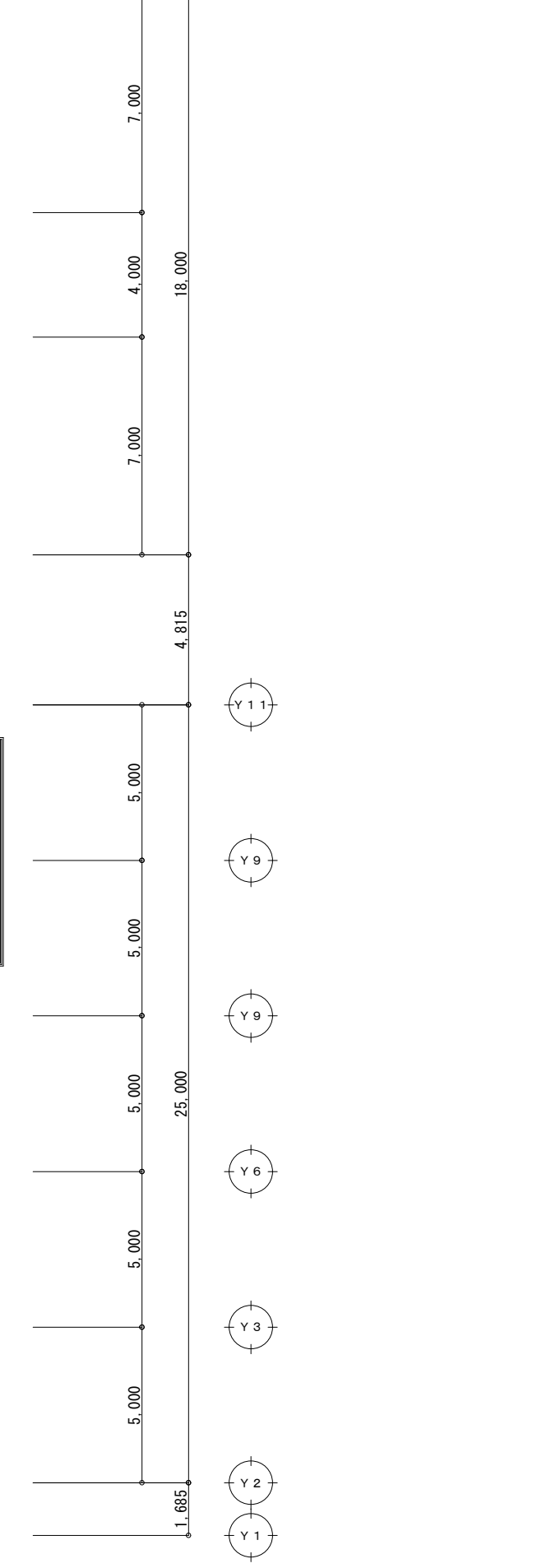
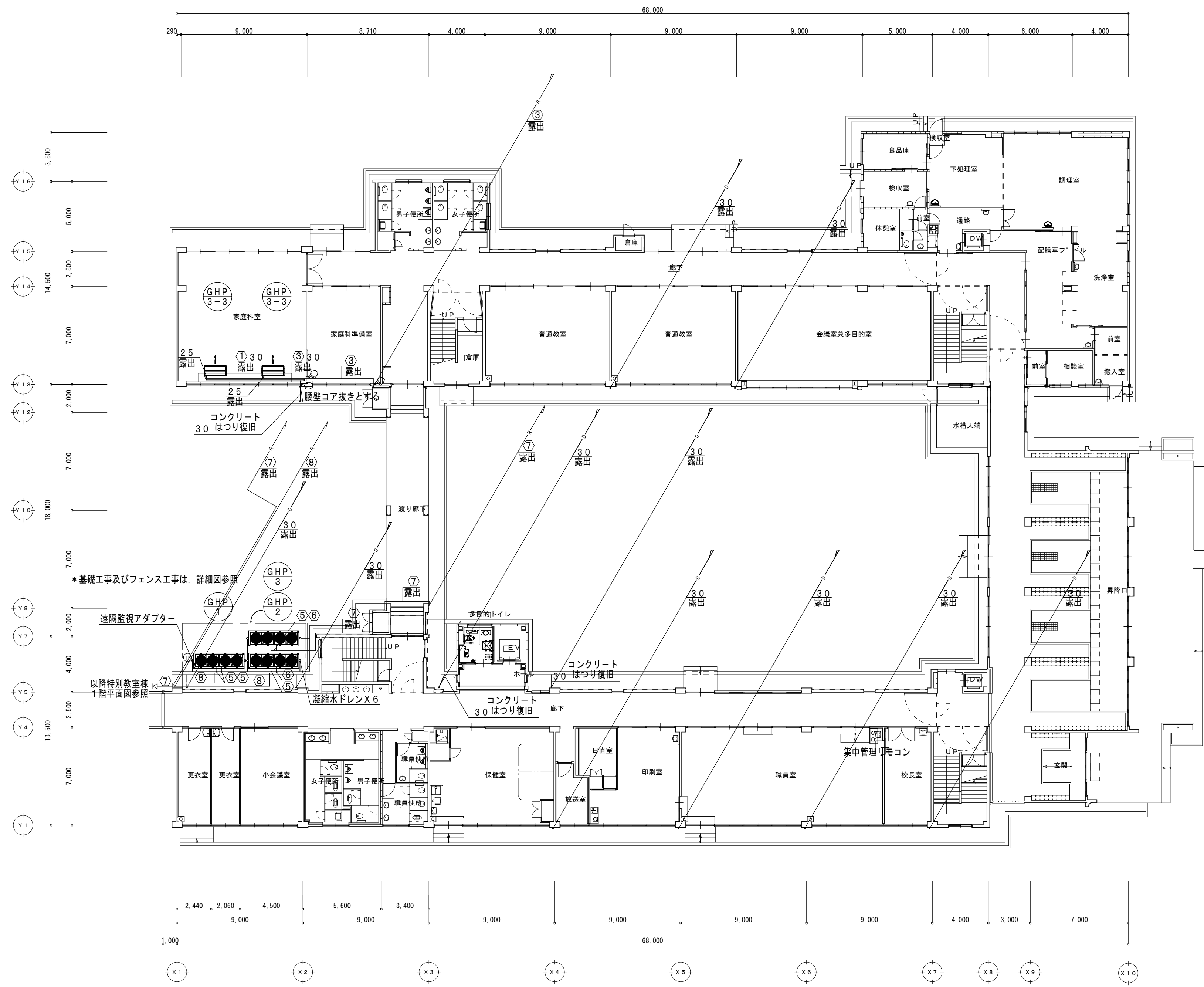
◀	今回施工工事を示す
◀	新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
☞	コア抜き貫通箇所を示す
◀	既設アルミパネル貫通箇所を示す
●	外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。
●	室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。



空調設備系統図

工事凡例

	今回施工工事を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
	既設アルミパネル貫通箇所を示す
	防火区画貫通処理：認定品使用
	●：外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製、溶融亜鉛めっき仕上げ)とする。
	●：室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製、溶融亜鉛めっき仕上げ)とする。



(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
②	19.1φ	9.5φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
③	22.2φ	9.5φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
④	28.6φ	12.7φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑤	28.6φ	15.9φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑥	31.8φ	15.9φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑦	31.8φ	19.1φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑧	38.1φ	19.1φ	CVVS1.25 ⁺ -2C

*連絡配線は冷媒共巻きとする

(H) 粉末消火器ABC：10型（屋外SUS製格納函・屋根脚共）

1階 平面図 S=1/200

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆
 設計担当者 一級建築士 No.352551 田端 隆

SCALE
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

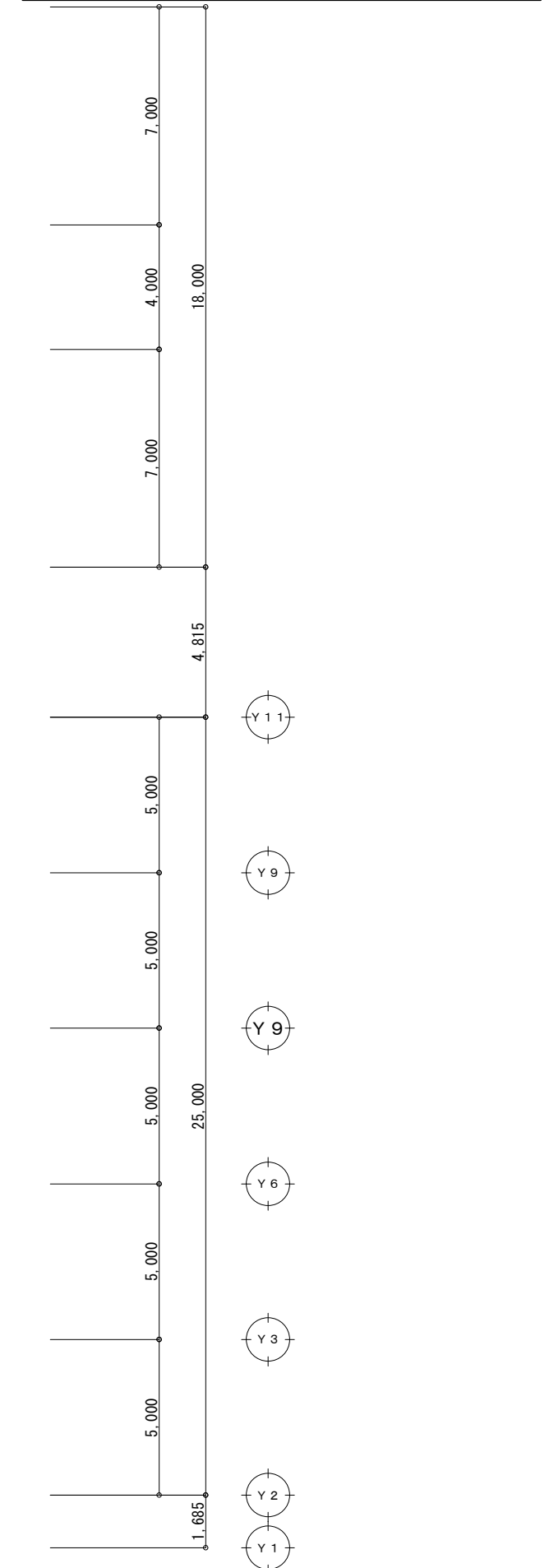
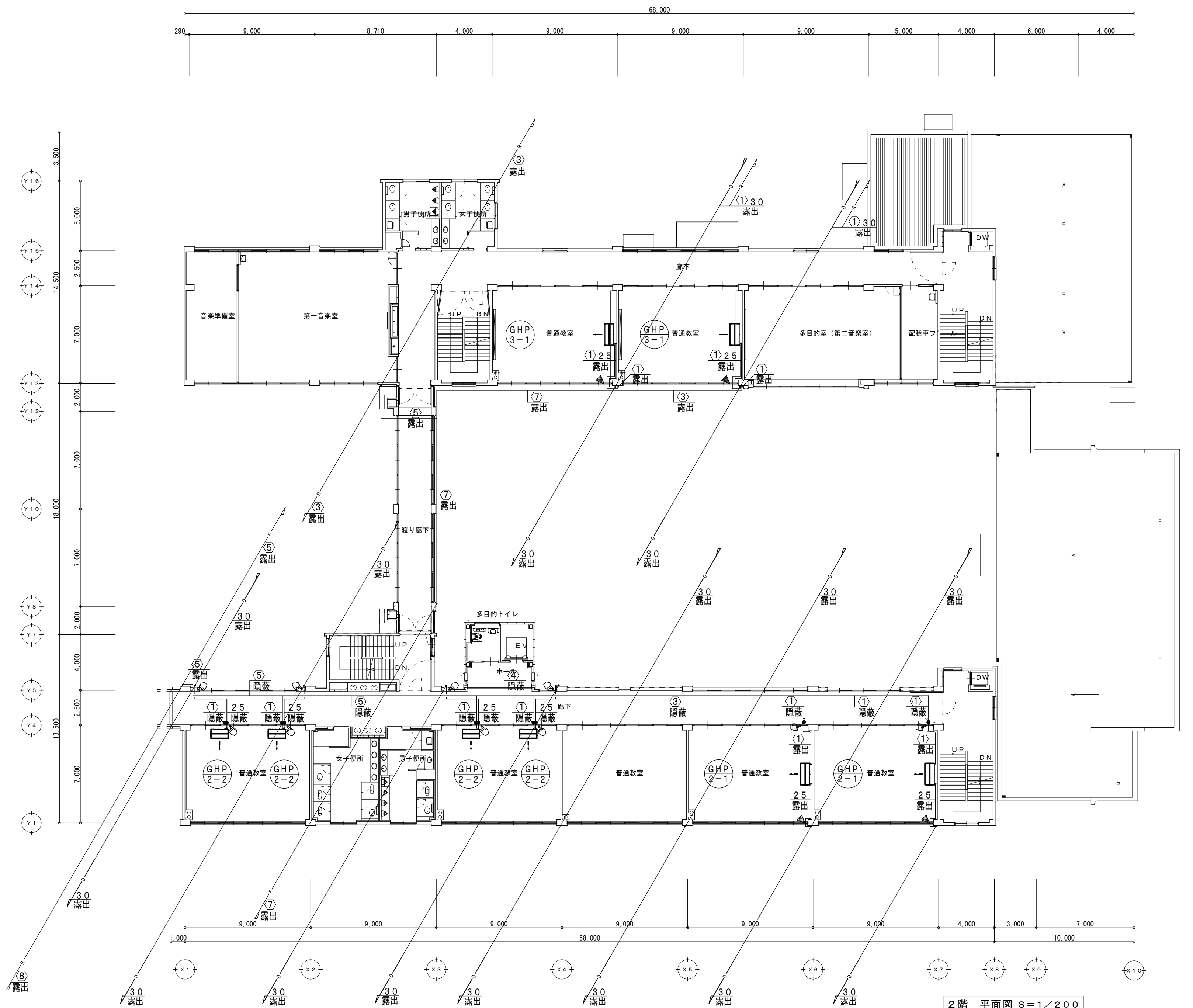
工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 普通教室・特別教室棟 空調設備 1階平面図

M-06
 原図：A2

工事凡例

	今回施工工事を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
	既存アルミパネル貫通箇所を示す
	防火区画貫通処理：認定品使用

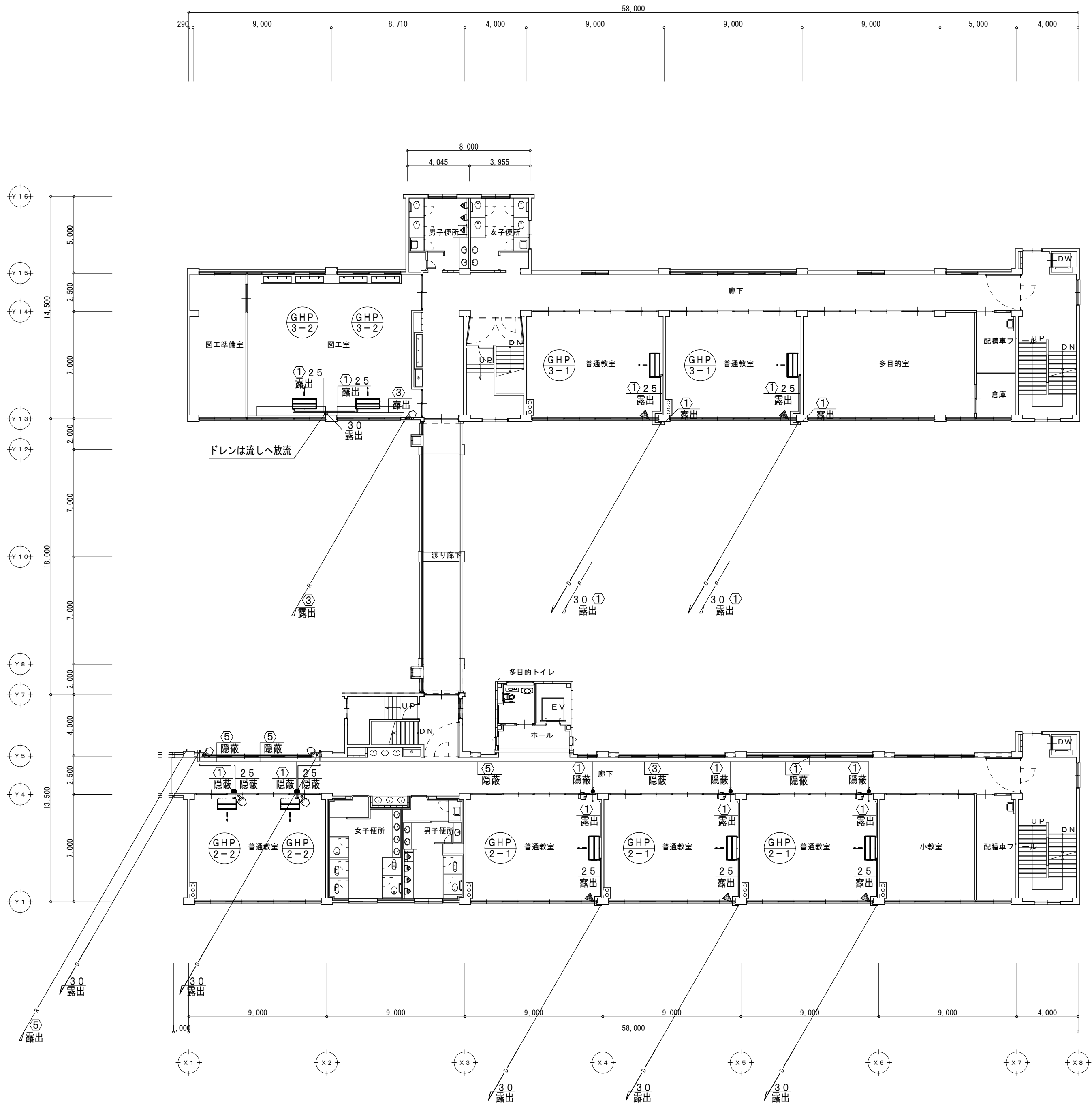
●：外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物
(SS製、溶融亜鉛めっき仕上げ)とする。
●：室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物
(SS製、溶融亜鉛めっき仕上げ)とする。



(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
②	19.1φ	9.5φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
③	22.2φ	9.5φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
④	28.6φ	12.7φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑤	28.6φ	15.9φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑥	31.8φ	15.9φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑦	31.8φ	19.1φ	CVVS1.25 ⁺ -2C
⑧	38.1φ	19.1φ	CVVS1.25 ⁺ -2C

*連絡配線は冷媒共巻きとする



3階 平面図 S=1/200

(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	CVVS1.25'-2C
②	19.1φ	9.5φ	CVVS1.25'-2C
③	22.2φ	9.5φ	CVVS1.25'-2C
④	28.6φ	12.7φ	CVVS1.25'-2C
⑤	28.6φ	15.9φ	CVVS1.25'-2C
⑥	31.8φ	15.9φ	CVVS1.25'-2C
⑦	31.8φ	19.1φ	CVVS1.25'-2C
⑧	38.1φ	19.1φ	CVVS1.25'-2C

*連絡配線は冷媒共巻きとする

工事凡例

	今回施工工事を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
	既設アルミパネル貫通箇所を示す
	防火区画貫通処理：認定品使用
	●：外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製，溶融亜鉛めっき仕上げ)とする。
	●：室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製，溶融亜鉛めっき仕上げ)とする。

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

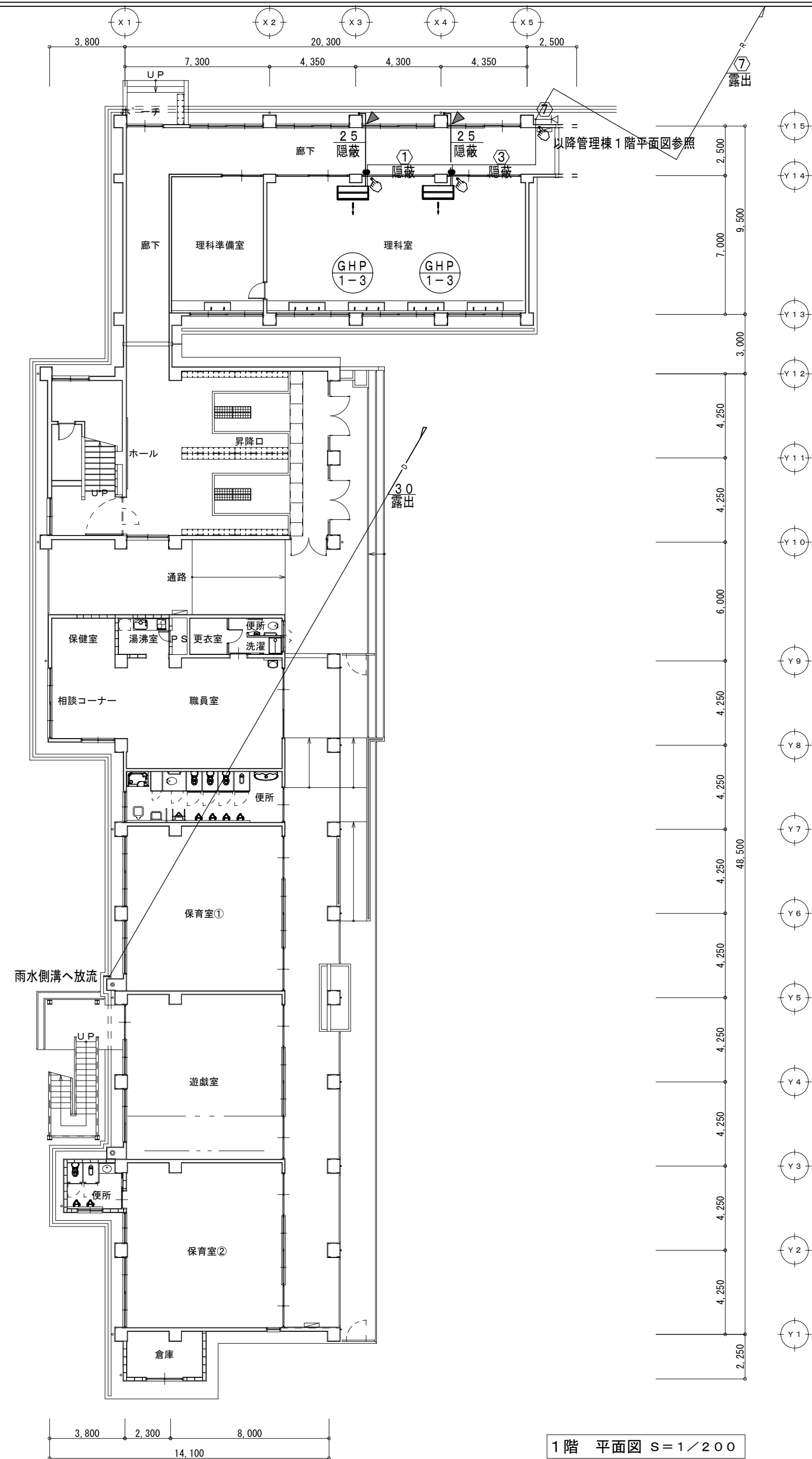
設計代表者
 一級建築士
 No.134324
 構造設計一級建築士
 No.2300
 田端 隆

設計担当者
 一級建築士
 No.352551
 田端 隆

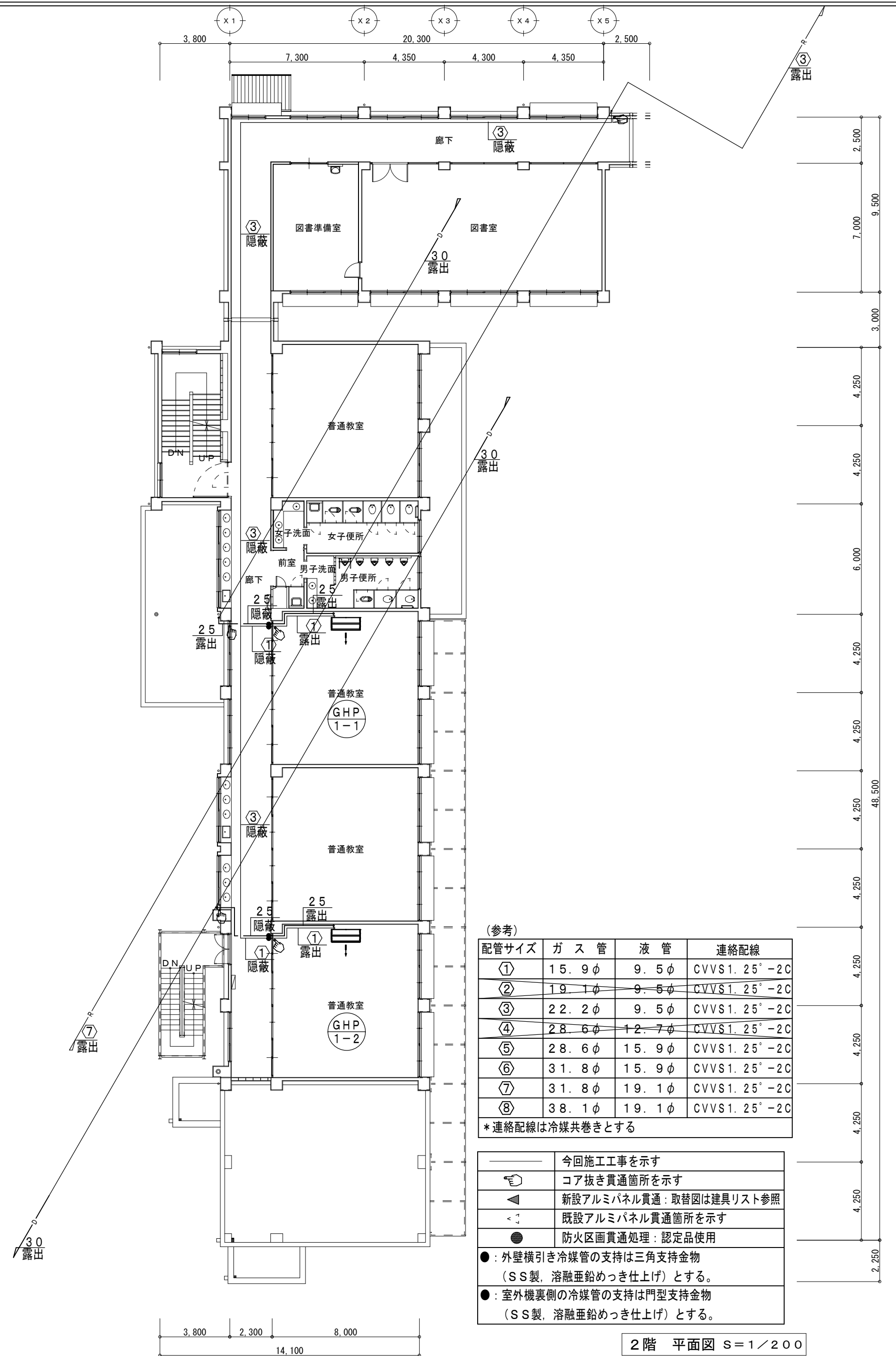
SCALE
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 普通教室・特別教室棟 空調設備 3階平面図

M-08
 原図：A2



1階 平面図 S=1/200



2階 平面図 S=1/200

(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	CVVS1.25°-2C
②	19.1φ	9.5φ	CVVS1.25°-2C
③	22.2φ	9.5φ	CVVS1.25°-2C
④	28.6φ	12.7φ	CVVS1.25°-2C
⑤	28.6φ	15.9φ	CVVS1.25°-2C
⑥	31.8φ	15.9φ	CVVS1.25°-2C
⑦	31.8φ	19.1φ	CVVS1.25°-2C
⑧	38.1φ	19.1φ	CVVS1.25°-2C

*連絡配線は冷媒共巻きとする

- 今回施工工事を示す
- ☞ コア抜き貫通箇所を示す
- ◀ 新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
- < ◀ 既設アルミパネル貫通箇所を示す
- 防火区画貫通処理：認定品使用
- 外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (S製、溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。
- 室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (S製、溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。

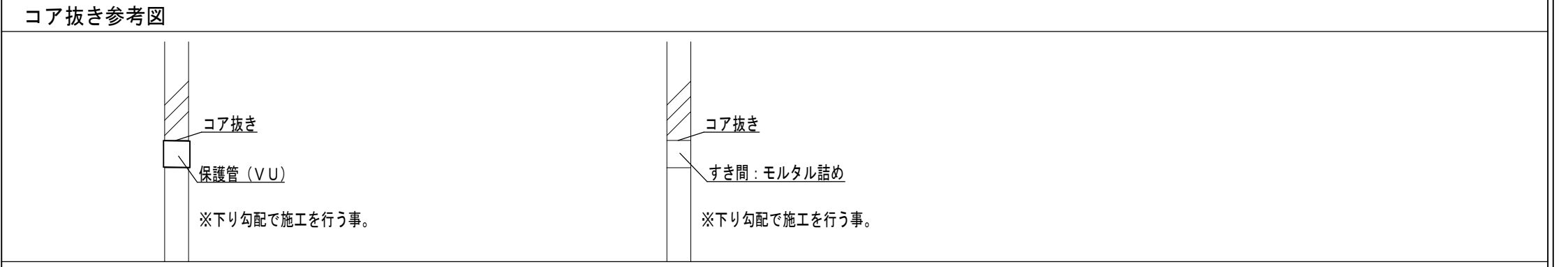
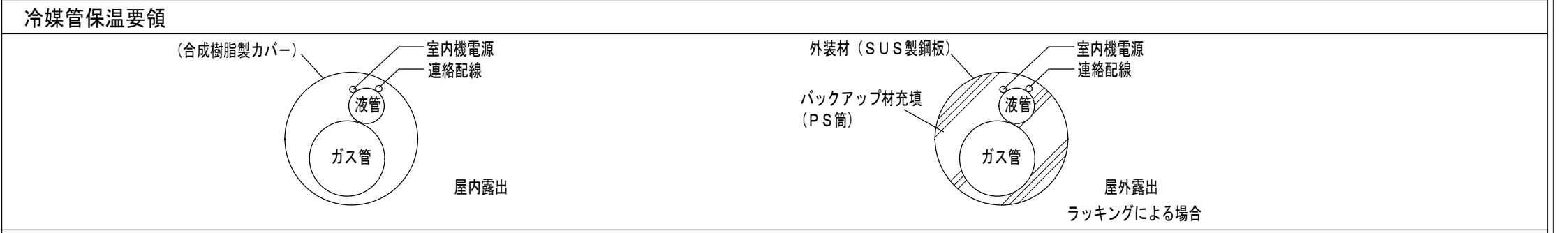
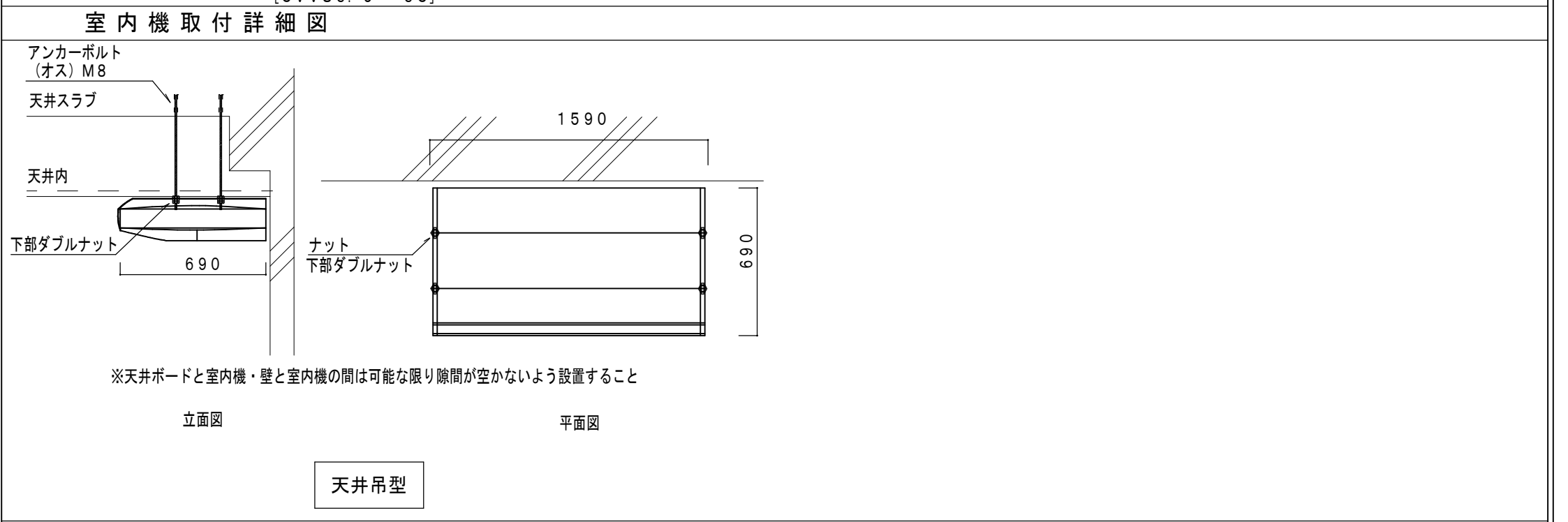
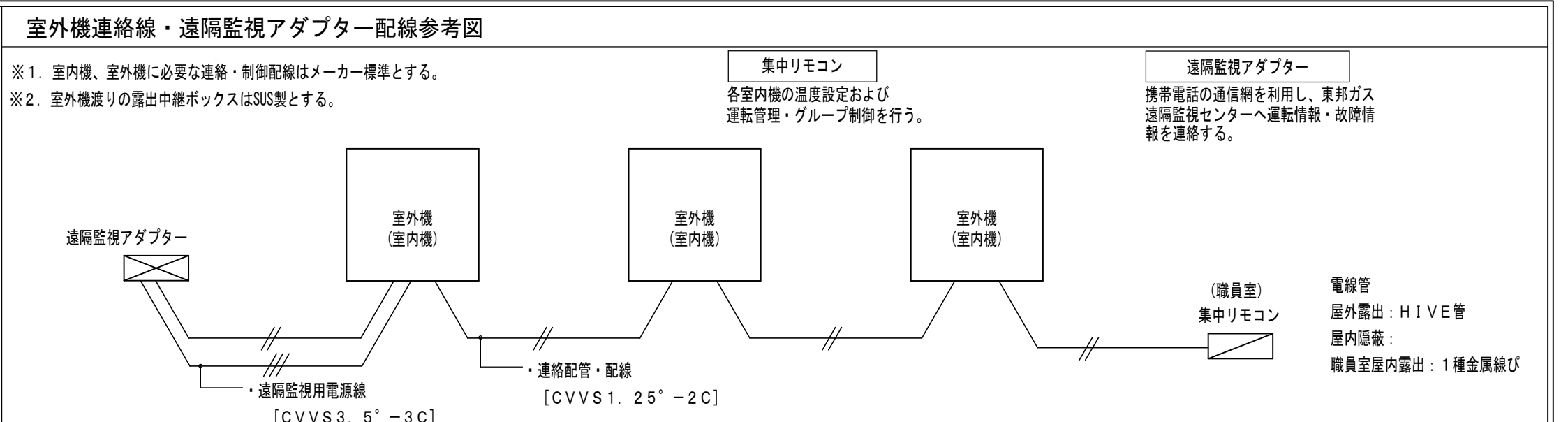
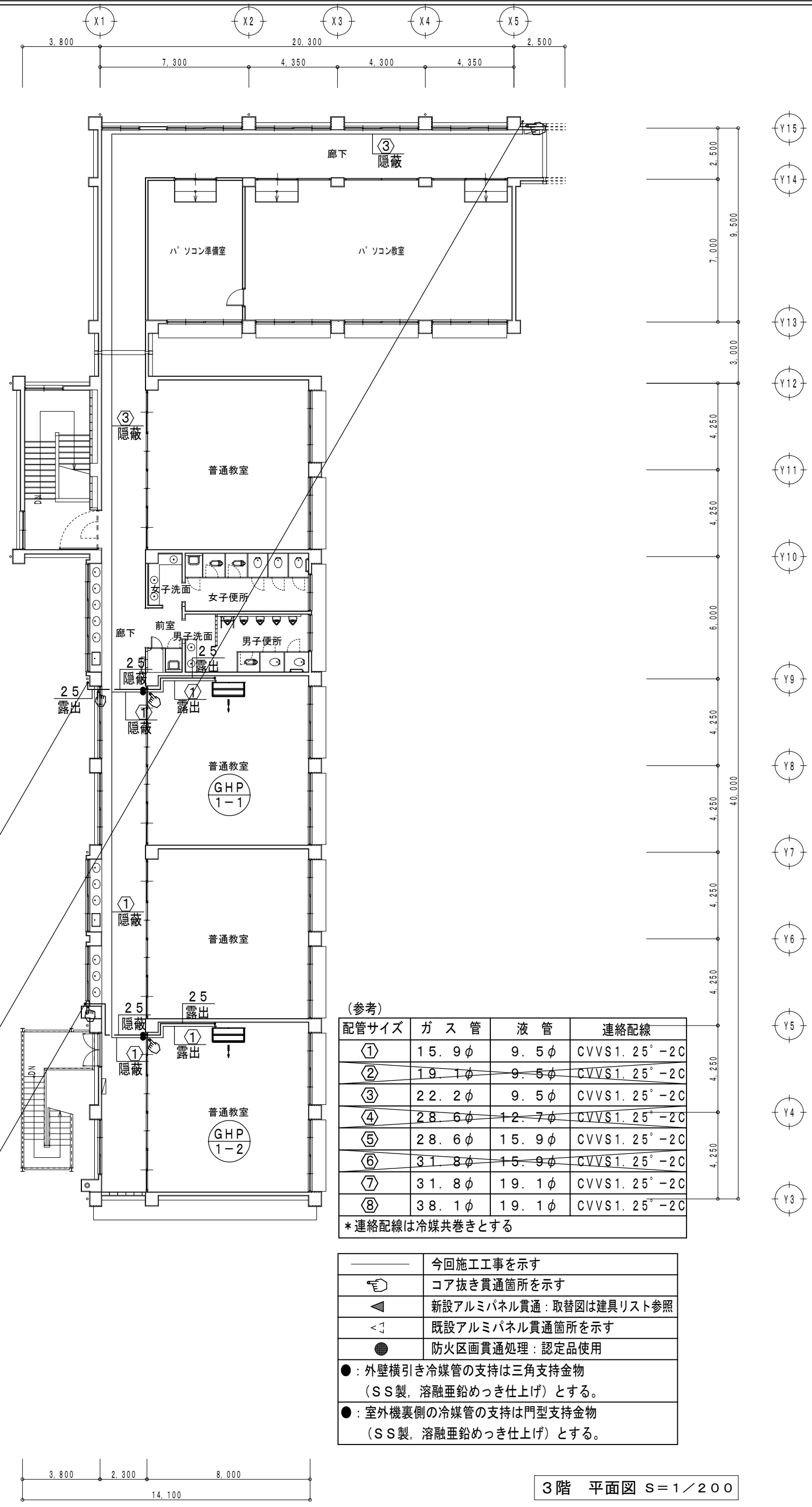
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者 一級建築士 No.134324 田端 隆
 設計担当者 一級建築士 No.352551 田端 隆

SCALE
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

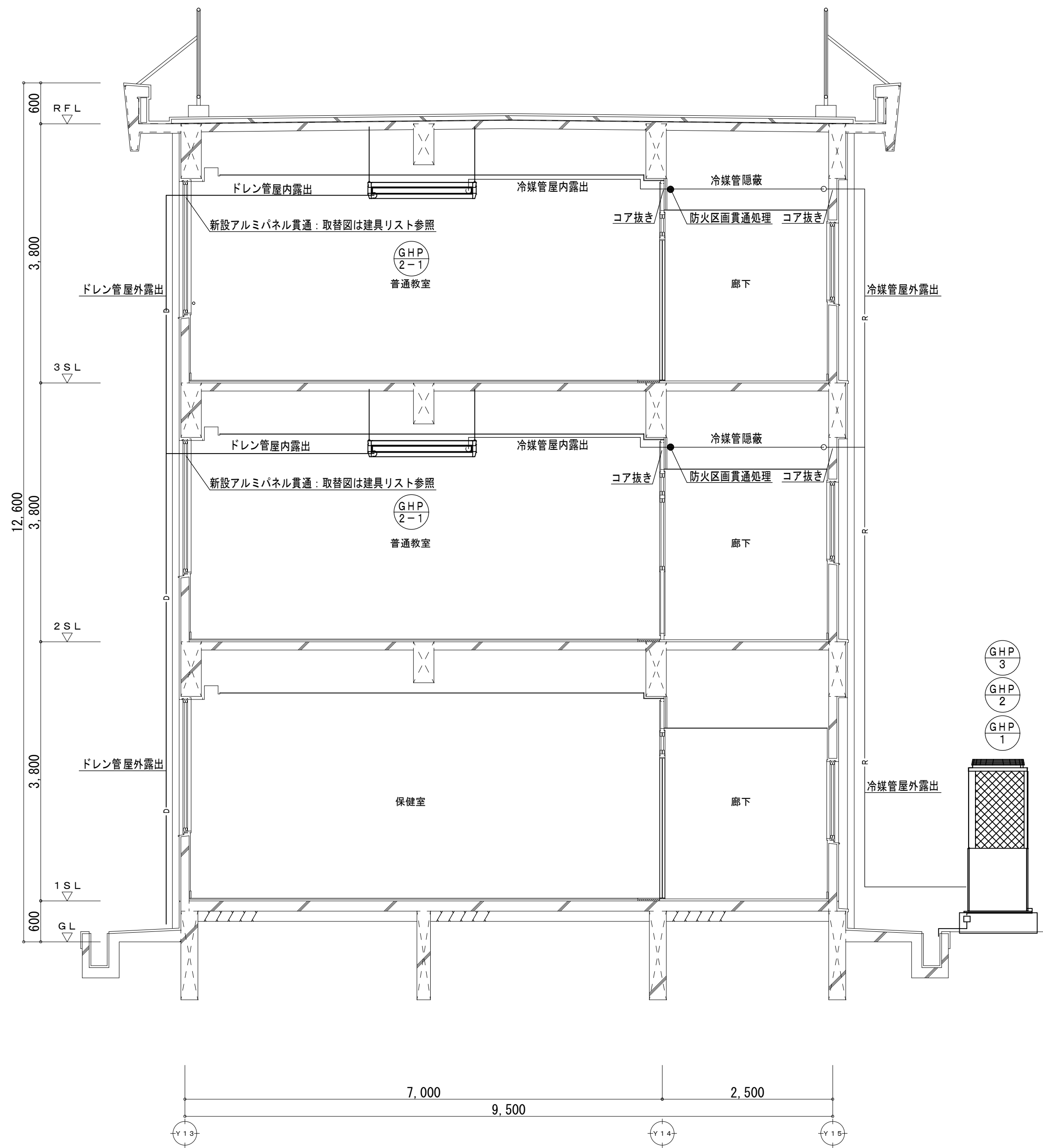
工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 特別教室棟 空調設備 1階・2階平面図

M-09
 原図：A2



- (参考)
- 今回施工工事を示す
 - コア抜き貫通箇所を示す
 - 新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
 - 既設アルミパネル貫通箇所を示す
 - 防火区画貫通処理：認定品使用
 - ：外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (S製、溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。
 - ：室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (S製、溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。

3階 平面図 S=1/200



断面図 S=1/50

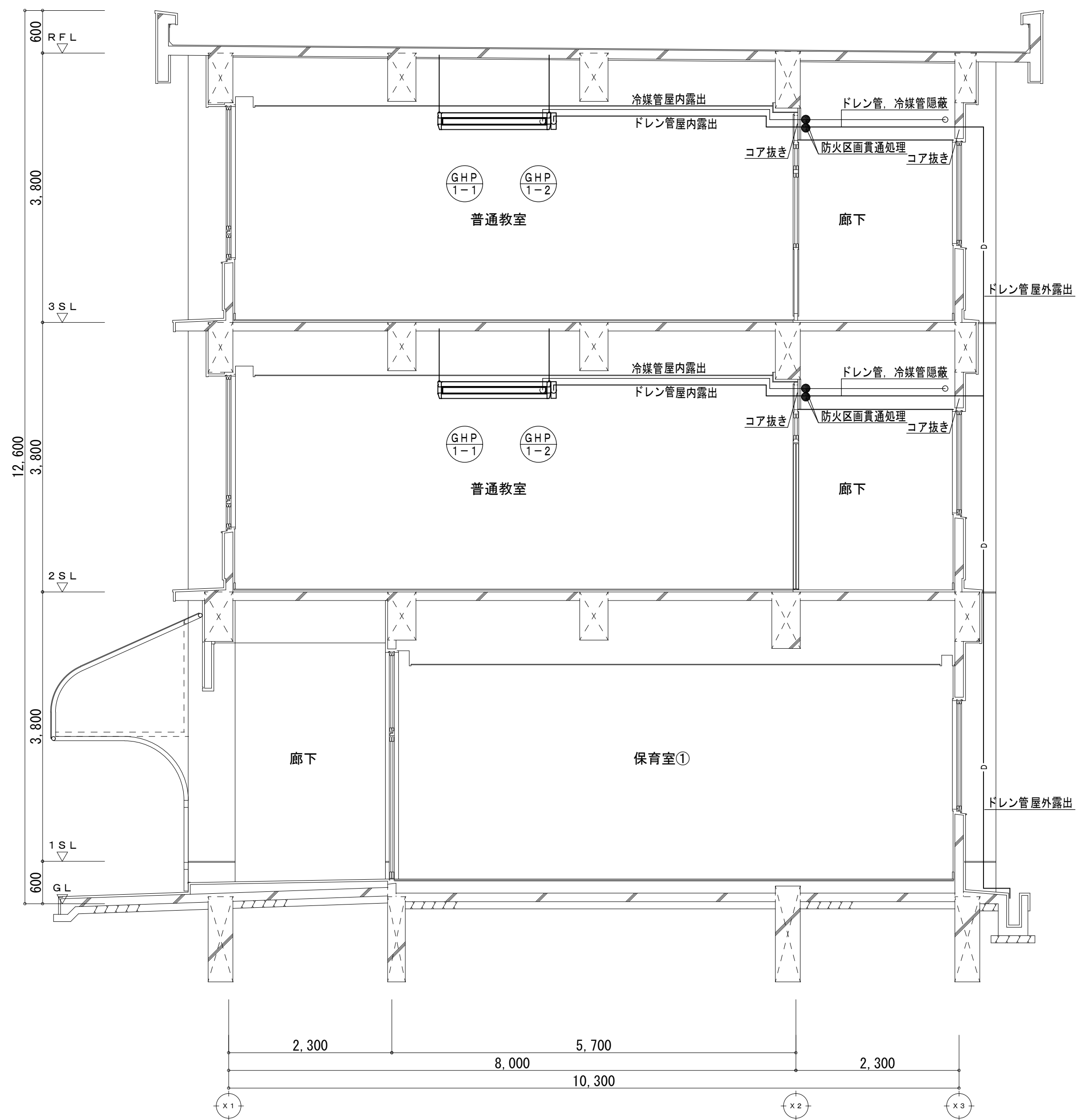
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆
 設計担当者 一級建築士 No.352551 田端 隆也

SCALE
 A2 : 1/50
 A3 : 1/70
 DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 空調設備 断面図 1

M-11
 原図: A2



断面図 S=1/50

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

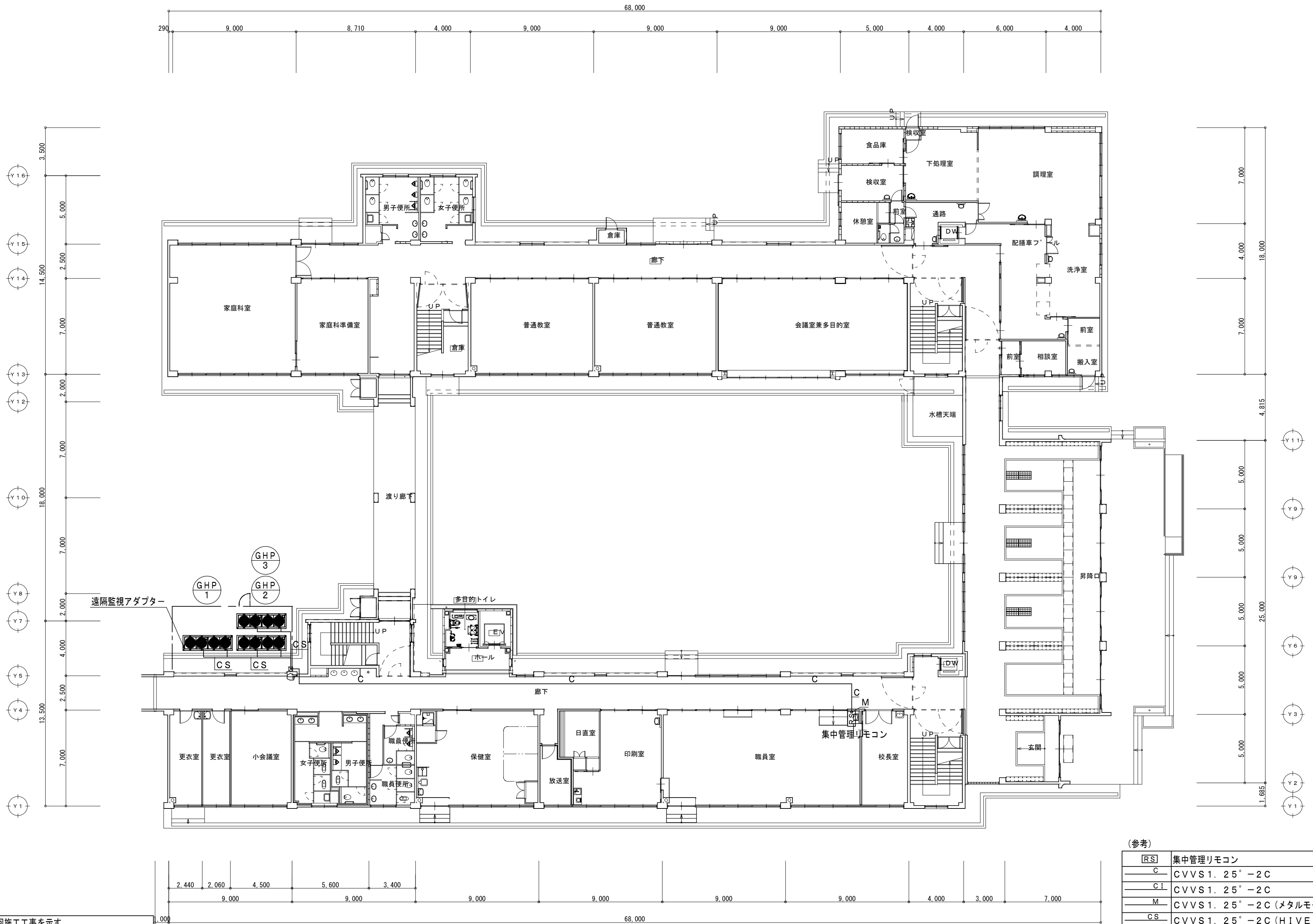
設計代表者
 一級建築士
 No.134324
 構造設計一級建築士
 No.2300
 田端 隆

設計担当者
 一級建築士
 No.352551
 田端 隆

SCALE
 A2 : 1/50
 A3 : 1/70
 DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 空調設備 断面図 2

M-12
 原図: A2



工事凡例

◀	今回施工工事を示す
◀	新設アルミパネル貫通：取替図は建具リスト参照
◀	コア抜き貫通箇所を示す
◀	既設アルミパネル貫通箇所を示す
○	屋外配管架台は冷媒配管架台を使用する。

(参考)

[RS]	集中管理リモコン	
C	CVVS1. 25° - 2C	: 隠蔽
CI	CVVS1. 25° - 2C	: 冷媒配管共巻
M	CVVS1. 25° - 2C (メタルモールA型)	: 屋内露出
CS	CVVS1. 25° - 2C (HIVE22)	: 屋外
CE	CVVS3. 5° - 3C (HIVE28)	: 屋外
	HIVE管露出配管支持の間隔は1mとする	
☒	PB: 200X200X200 (樹脂製)	

1階 平面図 S=1/200

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

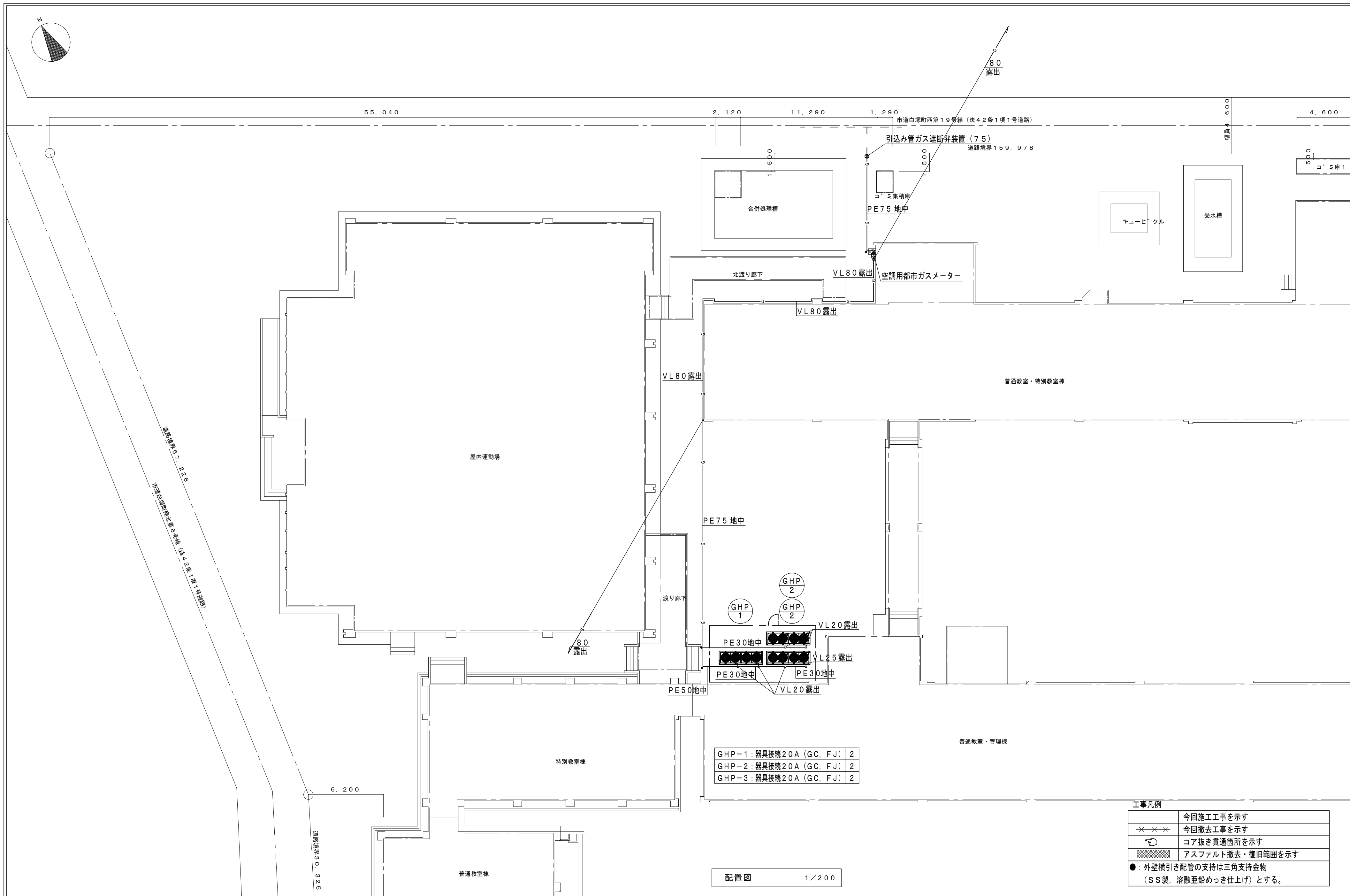
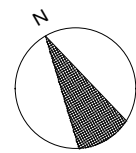
設計代表者
 一級建築士
 No.134324
 構造設計一級建築士
 No.2300
 田端 隆

設計担当者
 一級建築士
 No.352551
 田端 隆

SCALE
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 普通教室・特別教室棟 空調制御 1階平面図

M-13
 原図: A2



GHP-1	: 器具接続20A (GC, FJ)	2
GHP-2	: 器具接続20A (GC, FJ)	2
GHP-3	: 器具接続20A (GC, FJ)	2

工事凡例	
—	今回施工工事を示す
×××	今回撤去工事を示す
⊕	コア抜き貫通箇所を示す
■	アスファルト撤去・復旧範囲を示す
●	外壁横引き配管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。

配置図 1/200

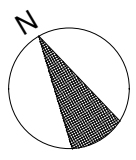
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者 一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	設計担当者 一級建築士 No.352551 田端 隆
---	-------------------------------------

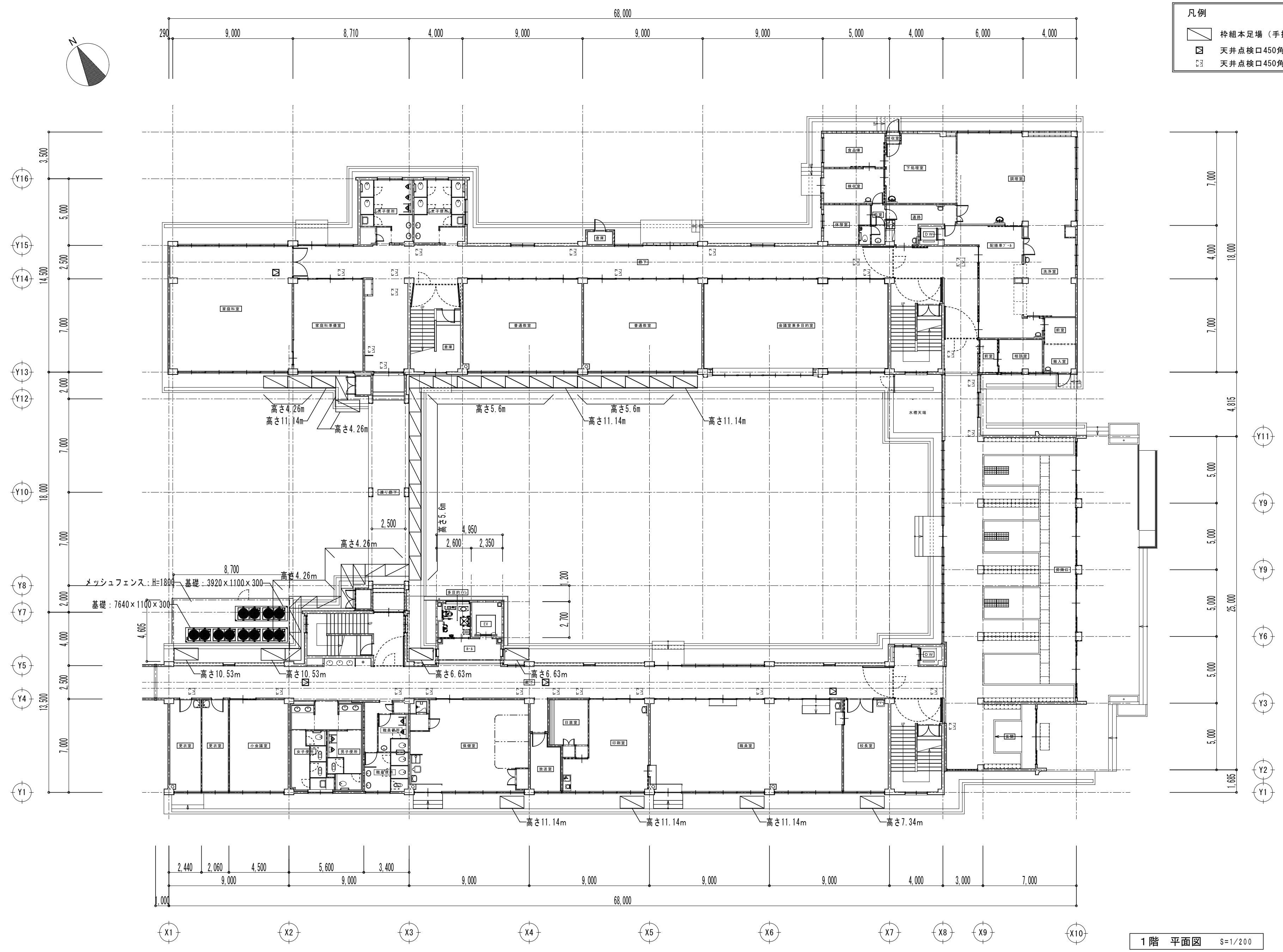
SCALE
 A2 : 1/200
 A3 : 1/280
 DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 ガス設備 配置図

M-14
 原図: A2

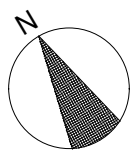






凡例	
	柱組本足場 (手摺先行方式) W900を示す
	天井点検口45度角 新設
	天井点検口45度角 既設

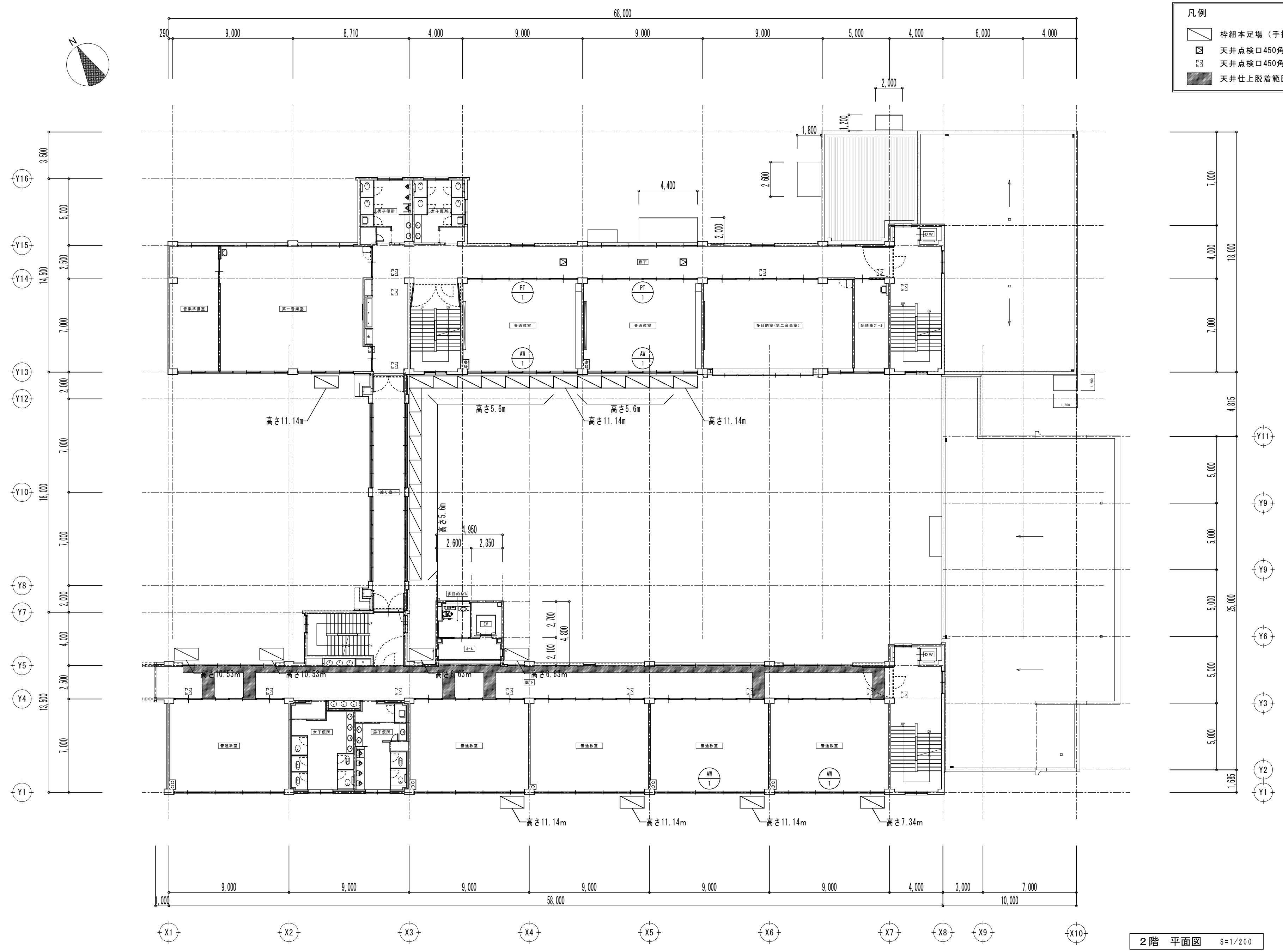


1階 平面図 S=1/200

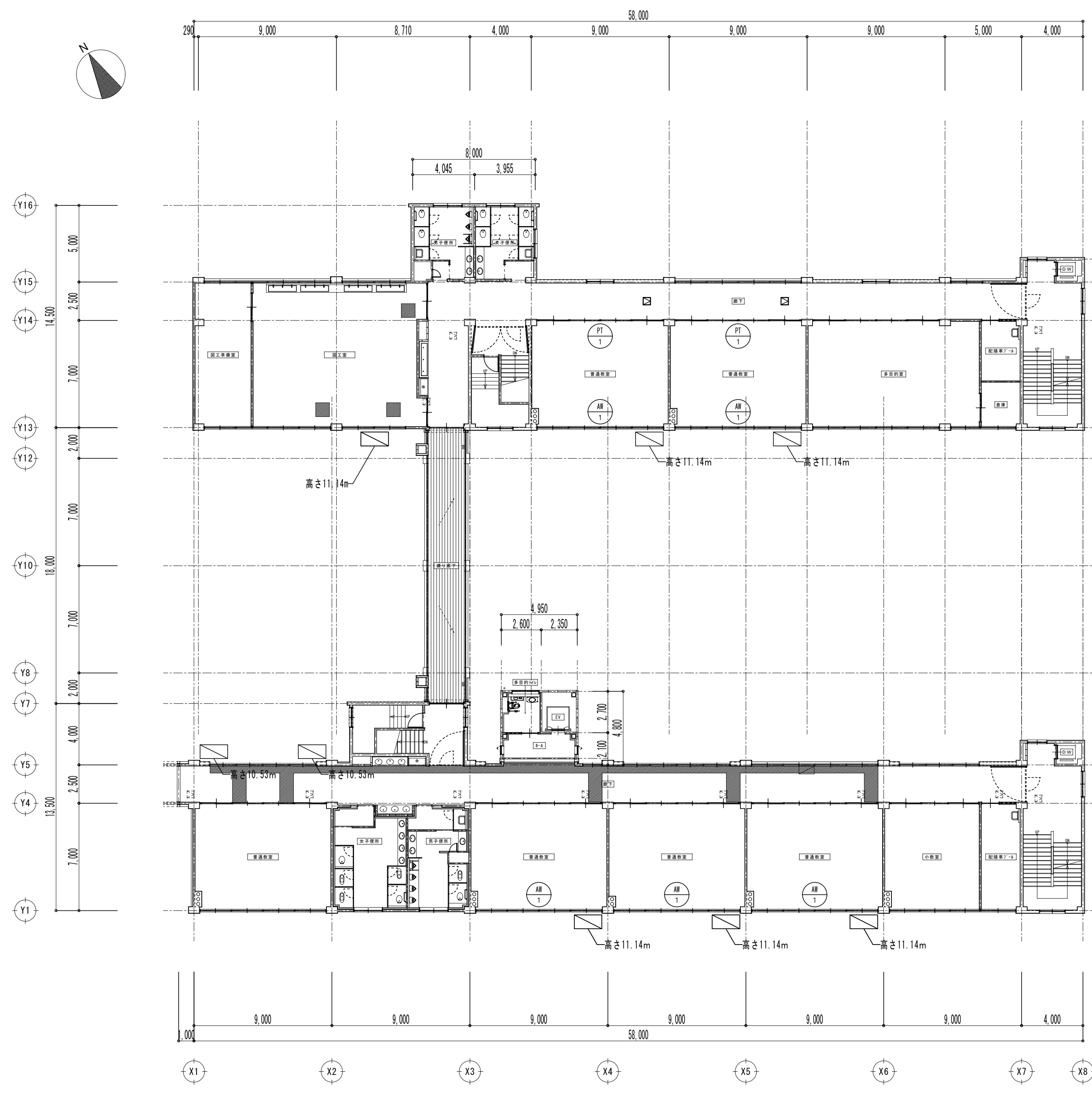
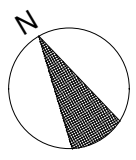
備考	 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事 図面名称 普通教室・特別教室棟 1階平面図	M-15 原図: A2
		一般建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一般建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/200 A3 : 1/280 DATE		



- 凡例
-  柱組本足場（手摺先行方式）W900を示す
 -  天井点検口450角 新設
 -  天井点検口450角 既設
 -  天井仕上脱着範囲を示す



備考	 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事 図面名称 普通教室・特別教室棟 2階平面図 普通教室・管理棟	M-16 原図: A2
		一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/200 A3 : 1/280 DATE		



凡例

- 枠組本足場 (手摺先行方式) W900を示す
- 天井点検口450角 新設
- 天井点検口450角 既設
- 天井仕上脱着範囲を示す

<p>寸法: 8,180 × 1,900</p> <p>材: 鋼引違い付4連引違い窓</p> <p>寸法: 学校用規格 5314</p> <p>金物: 戸車, 90°付, 78°水栓, 付属金物一式</p> <p>備考: 78°規格55-25</p>	<p>9 箇所</p> <p>普通教室・特別教室棟・普通教室・管理棟 2階・3階</p> <p>改修前</p> <p>換気扇設置用78°付</p> <p>見込: 78mm</p> <p>仕上: 78°黒色</p>
<p>寸法: 4,180 × 1,900</p> <p>材: 鋼引違い付4連引違い窓</p> <p>寸法: 学校用規格 5314</p> <p>金物: 戸車, 90°付, 78°水栓, 付属金物一式</p> <p>備考: 78°規格55-25</p>	<p>9 箇所</p> <p>普通教室・特別教室棟・普通教室・管理棟 2階・3階</p> <p>改修前</p> <p>換気扇設置用78°付</p> <p>見込: 78mm</p> <p>仕上: 78°黒色</p>
<p>寸法: 4,260 × 2,500</p> <p>材: 鋼引違い付4連引違い窓</p> <p>寸法: 学校用規格 5314</p> <p>金物: 引戸車, 普通引戸, 三角引戸, 78°引戸, 戸車, 90°付</p> <p>備考: 大建式後付引戸</p>	<p>4 箇所</p> <p>普通教室・特別教室棟 2階・3階</p> <p>改修前</p> <p>換気扇設置用78°付</p> <p>見込: 78mm</p> <p>仕上: 78°黒色</p>
<p>寸法: 4,260 × 2,500</p> <p>材: 鋼引違い付4連引違い窓</p> <p>寸法: 学校用規格 5314</p> <p>金物: 引戸車, 普通引戸, 三角引戸, 78°引戸, 戸車, 90°付</p> <p>備考: 大建式後付引戸</p>	<p>4 箇所</p> <p>普通教室・特別教室棟 2階・3階</p> <p>改修前</p> <p>換気扇設置用78°付</p> <p>見込: 78mm</p> <p>仕上: 78°黒色</p>

建具リスト S=1/100

3階 平面図 S=1/200

備考	<p>(株)田端隆建築設計</p> <p>三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆</p>	<p>設計代表者</p> <p>一級建築士 No.134324 田端 隆</p>	<p>設計担当者</p> <p>一級建築士 No.352551 田端 隆</p>	<p>SCALE</p> <p>A2 : 1/200</p> <p>A3 : 1/280</p> <p>DATE</p>	<p>工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事</p> <p>図面名称 普通教室・特別教室棟 3階平面図</p>	<p>M-17</p> <p>原図: A2</p>
		<p>SCALE</p> <p>A2 : 1/200</p> <p>A3 : 1/280</p> <p>DATE</p>	<p>工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事</p> <p>図面名称 普通教室・特別教室棟 3階平面図</p>	<p>M-17</p> <p>原図: A2</p>		



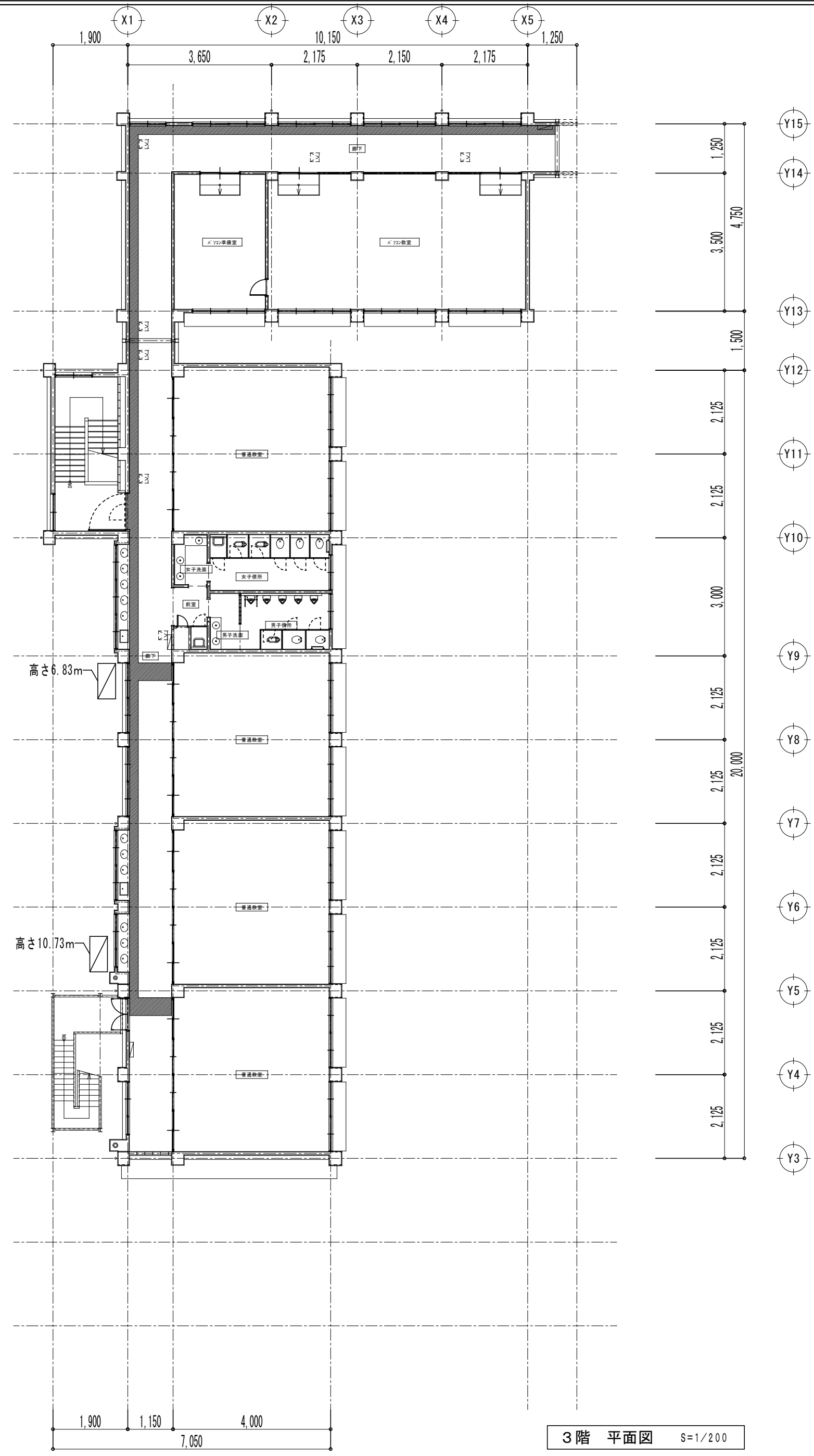
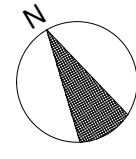
凡例

- 柱組本足場 (手摺先行方式) W900を示す
- ⊠ 天井点検口450角 新設
- ⊠ 天井点検口450角 既設
- 天井仕上脱着範囲を示す

符号・数量	特別教室棟 1階	1 箇所
使用箇所	改修前	
図面		
寸法	3,620 x 2,500	見込 70mm
材質	5/25引違窓付2連引違窓	仕上 7A5無着色
ガラス	網入樹脂付 516.8	
金物	戸車、大型引手、引戸錠、7A5水切、付属金物一式	
備考	7A5網線60x25 2F/227F以下移	
符号・数量	特別教室棟 1階	1 箇所
使用箇所	改修前	
図面		
寸法	3,620 x 2,500	見込 70mm
材質	5/25引違窓付2連引違窓	仕上 7A5無着色
ガラス	網入樹脂付 516.8	
金物	戸車、大型引手、引戸錠、7A5水切、付属金物一式	
備考	7A5網線60x25 2F/227F以下移	
符号・数量	特別教室棟 1階	1 箇所
使用箇所	改修前	
図面		
寸法	3,570 x 1,400	見込 70mm
材質	2連引違窓	仕上 7A5無着色
ガラス	網入樹脂付 516.8	
金物	戸車、7A5水切、付属金物一式	
備考	7A5網線60x25	
符号・数量	特別教室棟 1階	1 箇所
使用箇所	改修前	
図面		
寸法	3,570 x 1,400	見込 70mm
材質	2連引違窓	仕上 7A5無着色
ガラス	網入樹脂付 516.8	
金物	戸車、7A5水切、付属金物一式	
備考	7A5網線60x25	

1階 平面図 S=1/200

2階 平面図 S=1/200



凡例

	枠組本足場 (手摺先行方式) W900を示す
	天井点検口450角 新設
	天井点検口450角 既設
	天井仕上脱着範囲を示す

3階 平面図 S=1/200

備考	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆

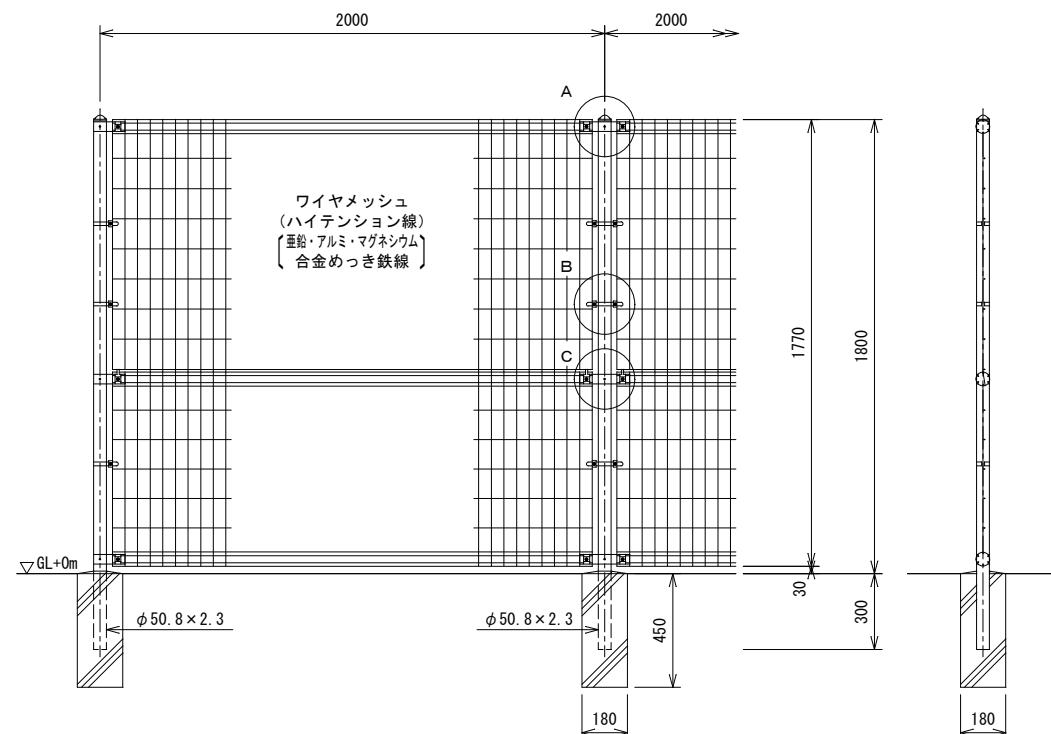
SCALE	
A2	1/200
A3	1/280
DATE	

工事名称	津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
図面名称	特別教室棟 普通教室棟 3階平面図

参考図

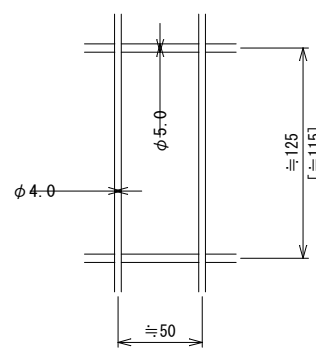
メッシュフェンス

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

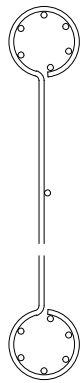


ワイヤメッシュ図

() 内は芯径を示す。
[] 内は下部パネルを示す。

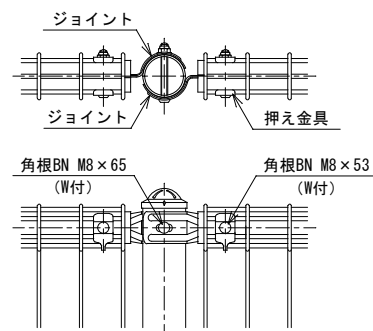


パネル断面図

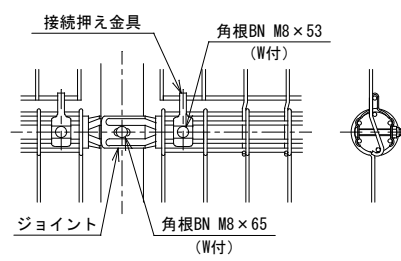


参考品番：UN-A1800 (朝日フェンス)

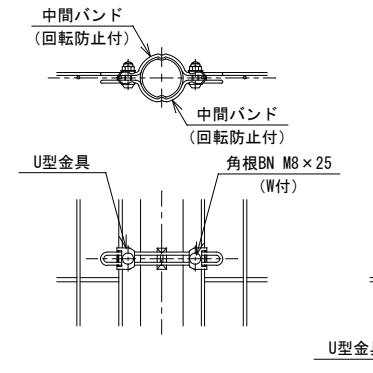
A部取付図



C部取付図



B部取付図



標準的な取付図

パネルと柱のすきまが
せまい場合の取付図

設計条件

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

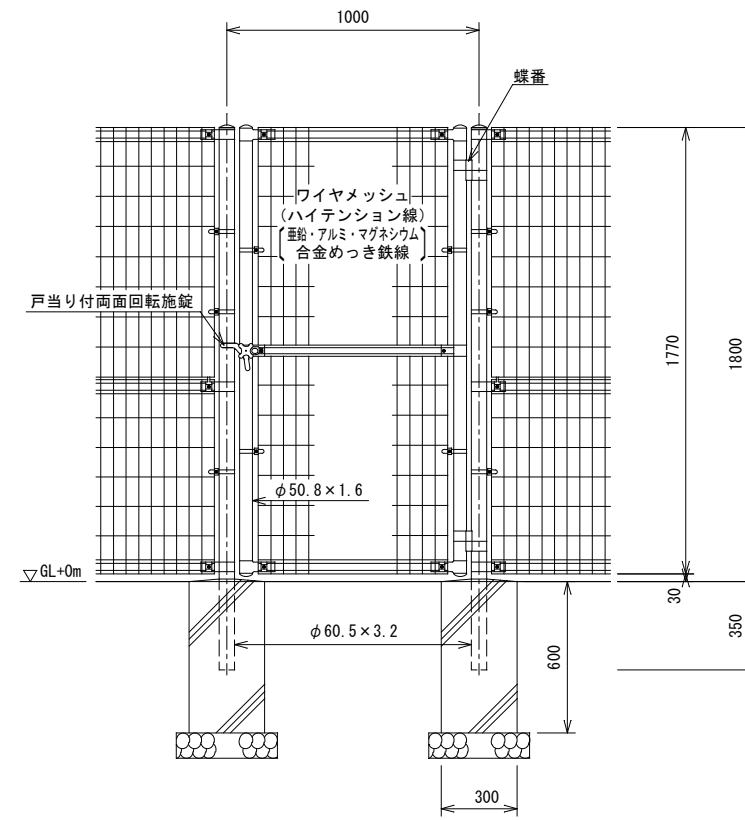
備考

- 外装について
 - 支柱、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 - ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

参考図

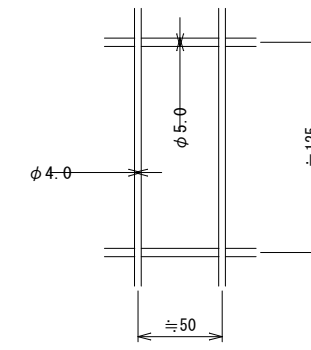
メッシュフェンス 片開き門扉

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

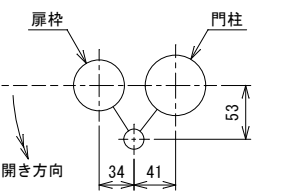


ワイヤメッシュ図

() 内は芯径を示す。



門柱・扉枠位置関係図



設計条件

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考

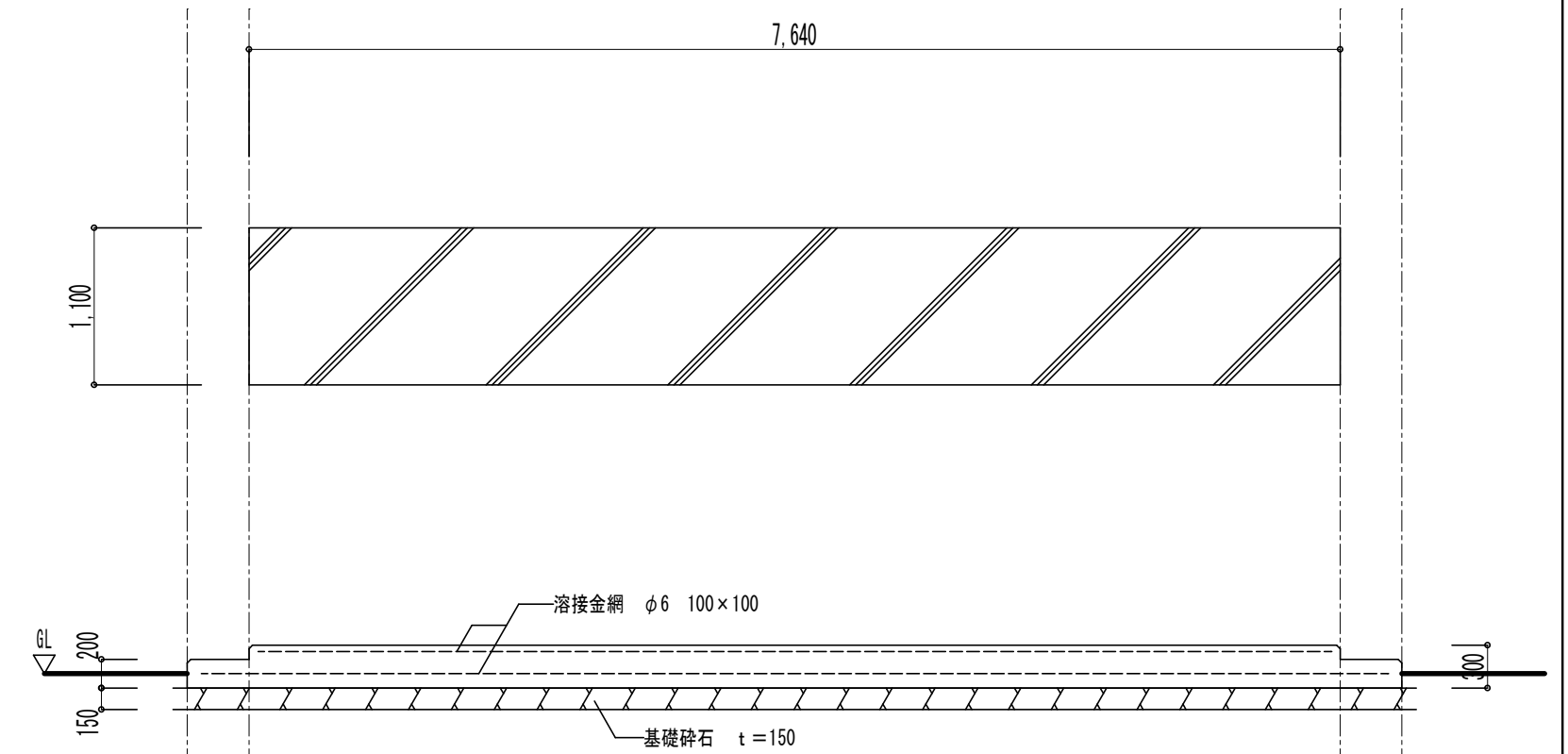
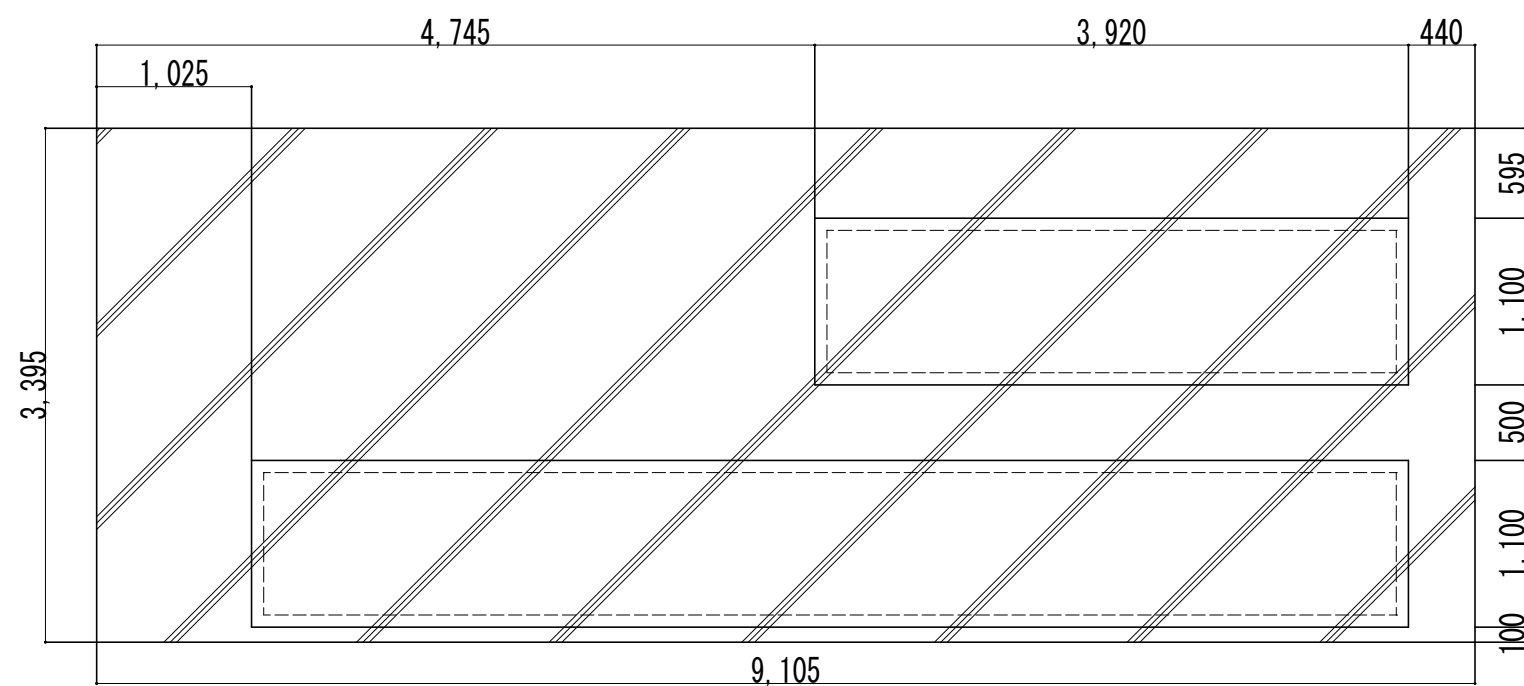
- 外装について
 - 門柱、枠体、ジョイント、押え金具、ワイヤメッシュ・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 - U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 - ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
 - 戸当たり面回転施設・・・溶融亜鉛めっきのみ
- 本図門扉は片側180°開きとする。

注意

施設門柱の扉開き側に障害物(兼用フェンス、壁など)を有する場合には、両面回転施設の戸当たりが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要です。

屋外機基礎

基礎



仕様

コンクリート Fc=21 (スラブ18cm)
型枠 合板12mmを標準とする。

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者

一級建築士
No.134324
構造設計一級建築士
No.2300
田端 隆

設計担当者

一級建築士
No.352551
田端 隆

SCALE

A2 : N/S
A3 : N/S

DATE

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事

図面名称 部分詳細図

M-20

原図：A2

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
2. 工事場所 津市 白塚町 地内
3. 建物概要

4. 工事種目
工事種目は、下記の○印のついたものである。

Table with columns: 工 事 種 目, 工 事 場 所, 用途区分. Includes categories like 電力設備, 受変電設備, 発電設備, 通信・情報設備, etc.

- II. 共通仕様
1. 適用
図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。(最新のものを用いる)
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編)
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針」(電気設備工事監理指針・機械設備工事監理指針)
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)
・電気事業の業務の適正化に関する法律
・電気工事士法
・労働安全衛生法
・消防関連法規(条例・所轄指導要領を含む。)
・電力会社供給約款
・その他関連法令、関連諸基準

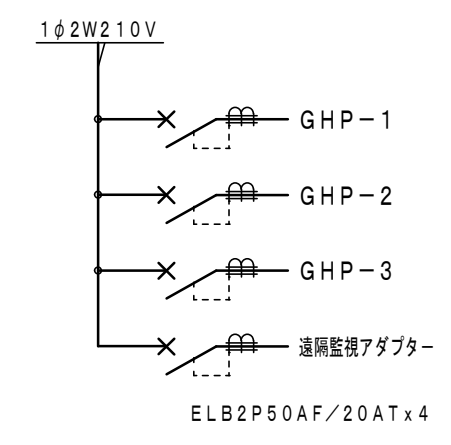
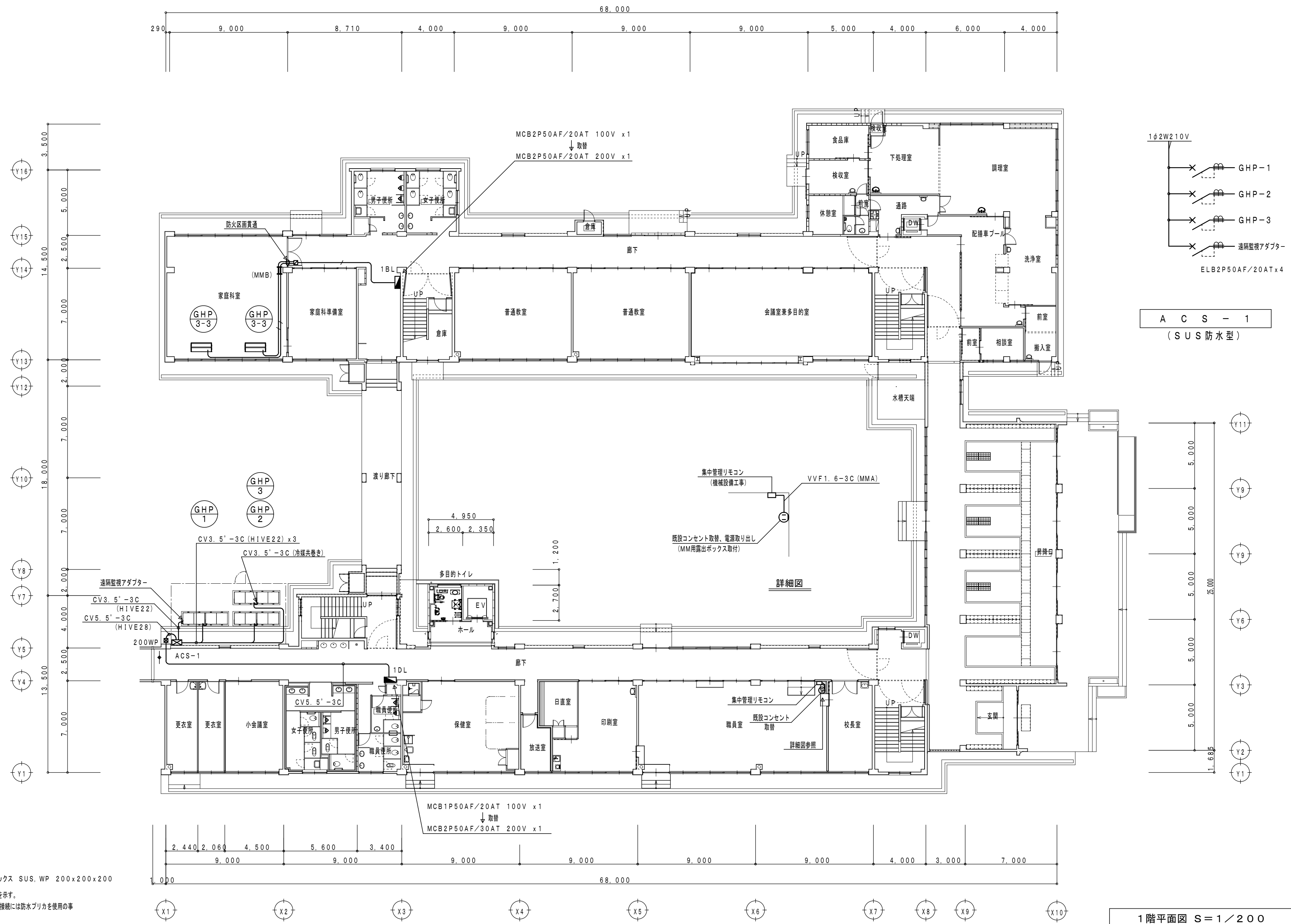
2. 一般共通事項
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

Table with columns: 項 目, 特 記 事 項. Lists 1. 一般事項, 2. 施工中の安全確保, 3. 足場, 4. 三重県産業廃棄物, 5. 電気工物の種類, 6. 電気工事士, 7. 有資格者の配置, 8. 電気工事業者の適正化に関する事項, 9. 電気主任技術者との調整, 10. 現場事務所等に備え付ける図書, 11. 施工計画等, 12. 品質計画, 13. 測定機器の校正等, 14. 機器類の能力等, 15. 工程表, 16. 工事写真, 17. 完成図書, 18. 施工条件, 19. 事故の発生時, 20. 建設副産物.

- 21. 発生材の処理等
(1)引き渡しを要するもの
上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。
(2)特別管理産業廃棄物
・変圧器 ・コンデンサ
・その他
現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。
なお施工に際して、P・C・B等特別管理産業廃棄物及び疑わしい機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
(3)現場内において再利用を図るもの
・発生土
・その他
(4)再資源化を図るもの
・コンクリート等 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材
(5)発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。
また、再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。
(6)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、産業物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B2、D票を提示すること。)

- 22. 官公署への手続き
工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
●消防設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係
・その他
(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
●本工事(・建築工事 ・電気設備工事 ●機械設備工事) ・別途工事
(2)防火対象物使用開始届出書
書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。
構内への設置 できる(施設管理者と協議) できない
機械設備工事に準ずる。
26. 工事中等の保安管理
新築、増築等で自家電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。
27. 搬入計画
大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。
29. 機材等の検査及び試験
検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。
30. 完成確認及び完成検査時の電源確保
機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。
31. 完成時の操作説明
タイム、総合盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。
また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。
32. 不正軽油の使用の禁止
市工場の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監視しなければならない。
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監視しなければならない。
33. その他
設計図書に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。

2. 施工仕様
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。
Table with columns: 項 目, 特 記 事 項. Includes items like 1. 既設設備等の調査, 2. 施工前の測定等, 3. 耐震施工, 4. 耐震基準, 5. はつり, 6. あと施工アンカー, 7. 基礎の配線ビット, 8. 配管・配線の耐震処置, 9. 最上階の埋込配管, 10. 露出配管, 11. 合成樹脂管, 12. 金属製電線管等の塗装, 13. 導入線, 14. ボックス類, 15. 軽量間仕切のボックス, 16. プルボックス, 17. ボルト・ナット類, 18. ケーブル及び配線, 19. 高圧ケーブル端末処理.

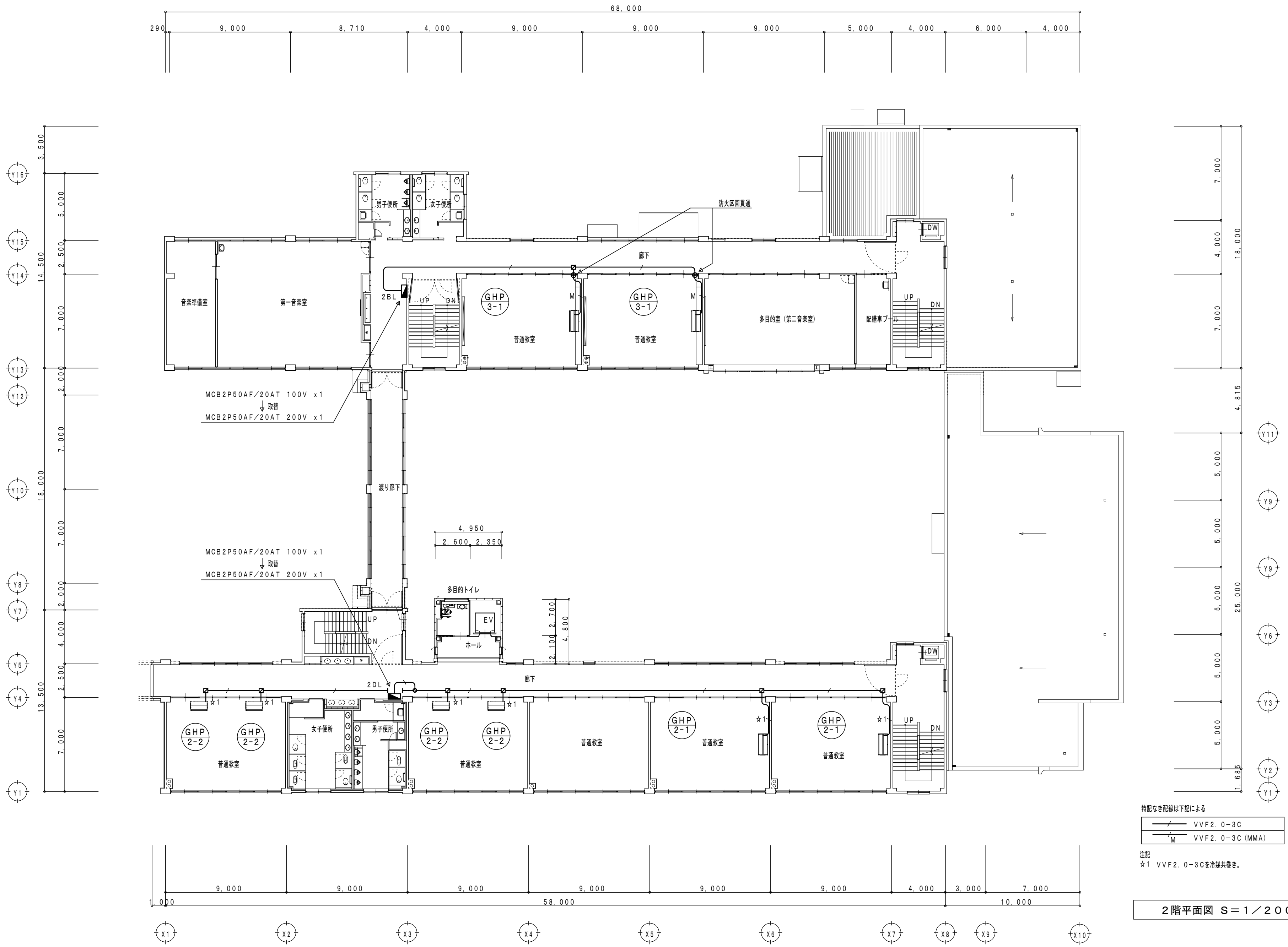


ACS-1
(SUS防水型)

注記
 ※ プルボックス SUS, WP 200x200x200
 ※ 200WP
 ※ ハズリ貫通を示す。
 ※ 空調室外機への接続には防水ブリカを使用の事

1階平面図 S=1/200

備考	 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事 図面名称 普通教室・特別教室棟 電気設備 1階平面図 原図: A2
		一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/200 A3 : 1/280 DATE	



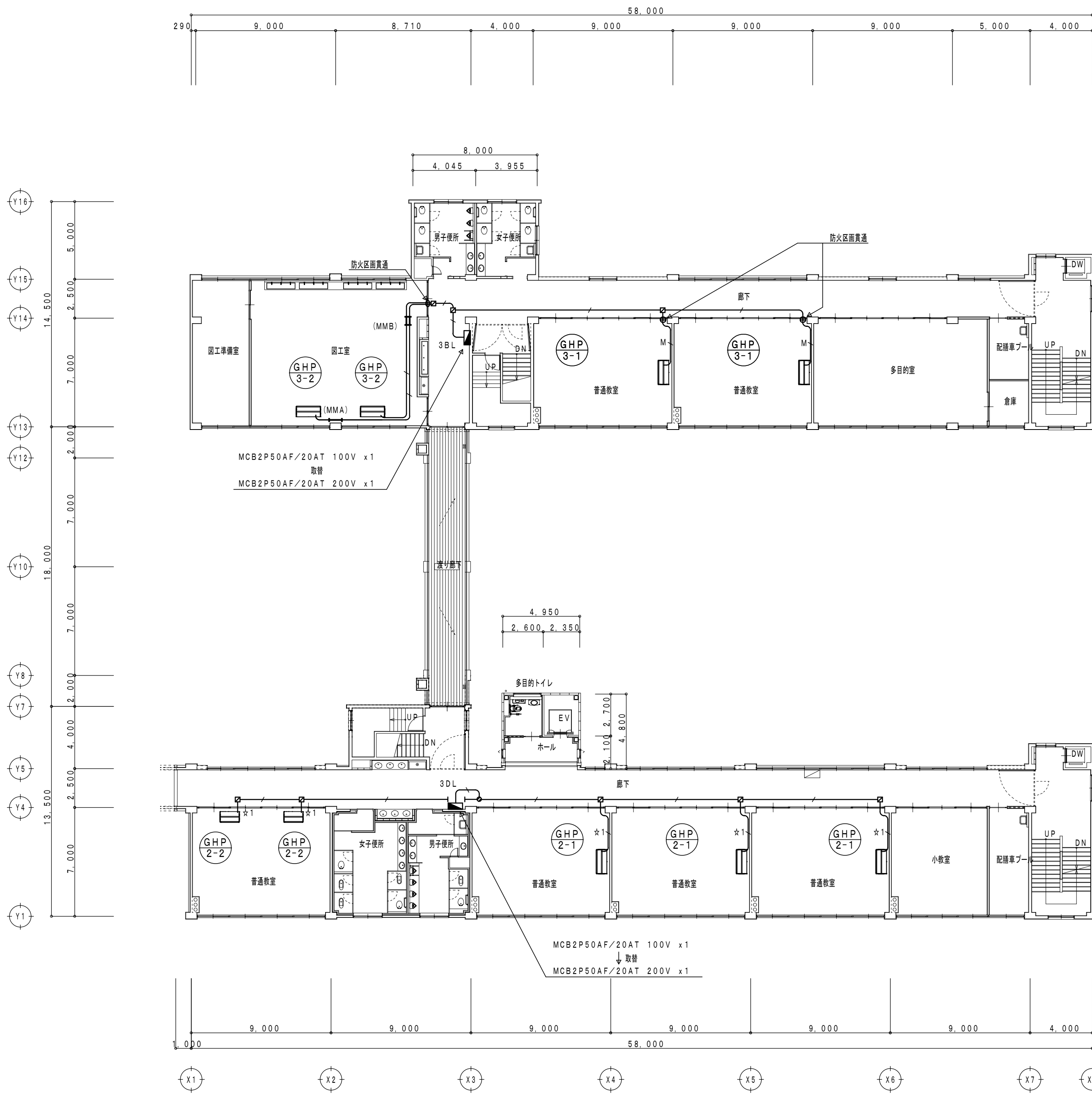
特記なき配線は下記による

	VVF2.0-3C
	VVF2.0-3C (MMA)

注記
 ☆1 VVF2.0-3Cを冷媒共巻き。

2階平面図 S=1/200

備考	 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆	設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事 図面名称 普通教室・特別教室棟 電気設備 2階平面図 原図: A2
		一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/200 A3 : 1/280 DATE	



MCB2P50AF/20AT 100V x1
 ↓ 取替
 MCB2P50AF/20AT 200V x1

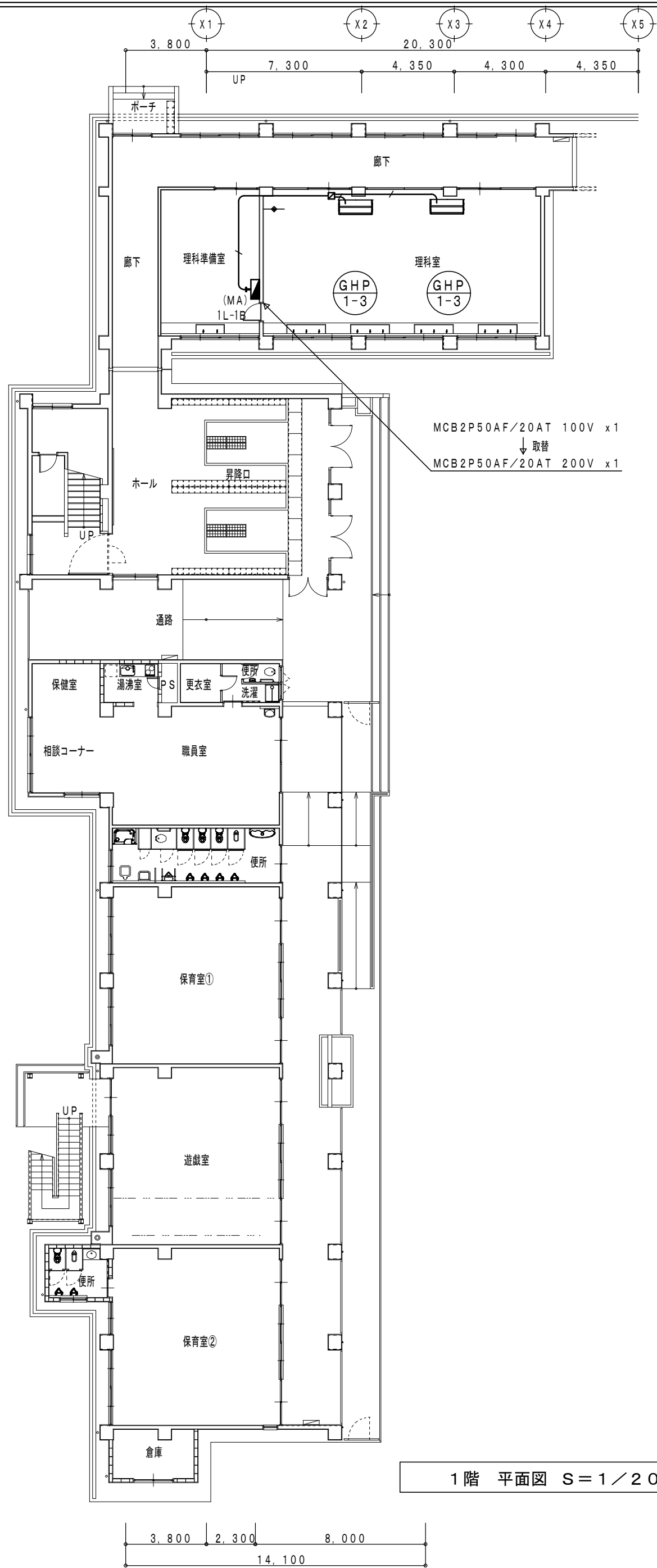
MCB2P50AF/20AT 100V x1
 ↓ 取替
 MCB2P50AF/20AT 200V x1

特記なき配線は下記による
 VVF2.0-3C
 M VVF2.0-3C (MMA)

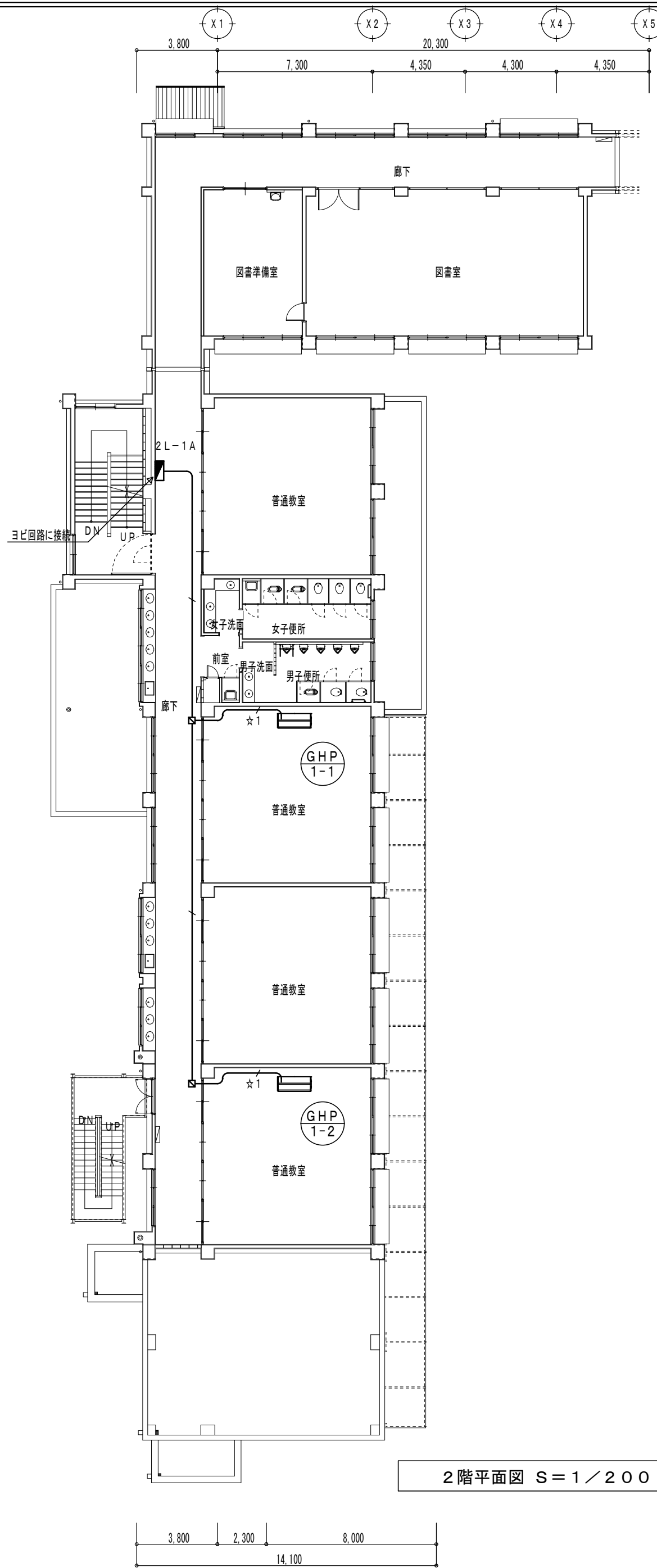
注記
 ☆1 VVF2.0-3Cを冷媒共巻き。

3階平面図 S=1/200

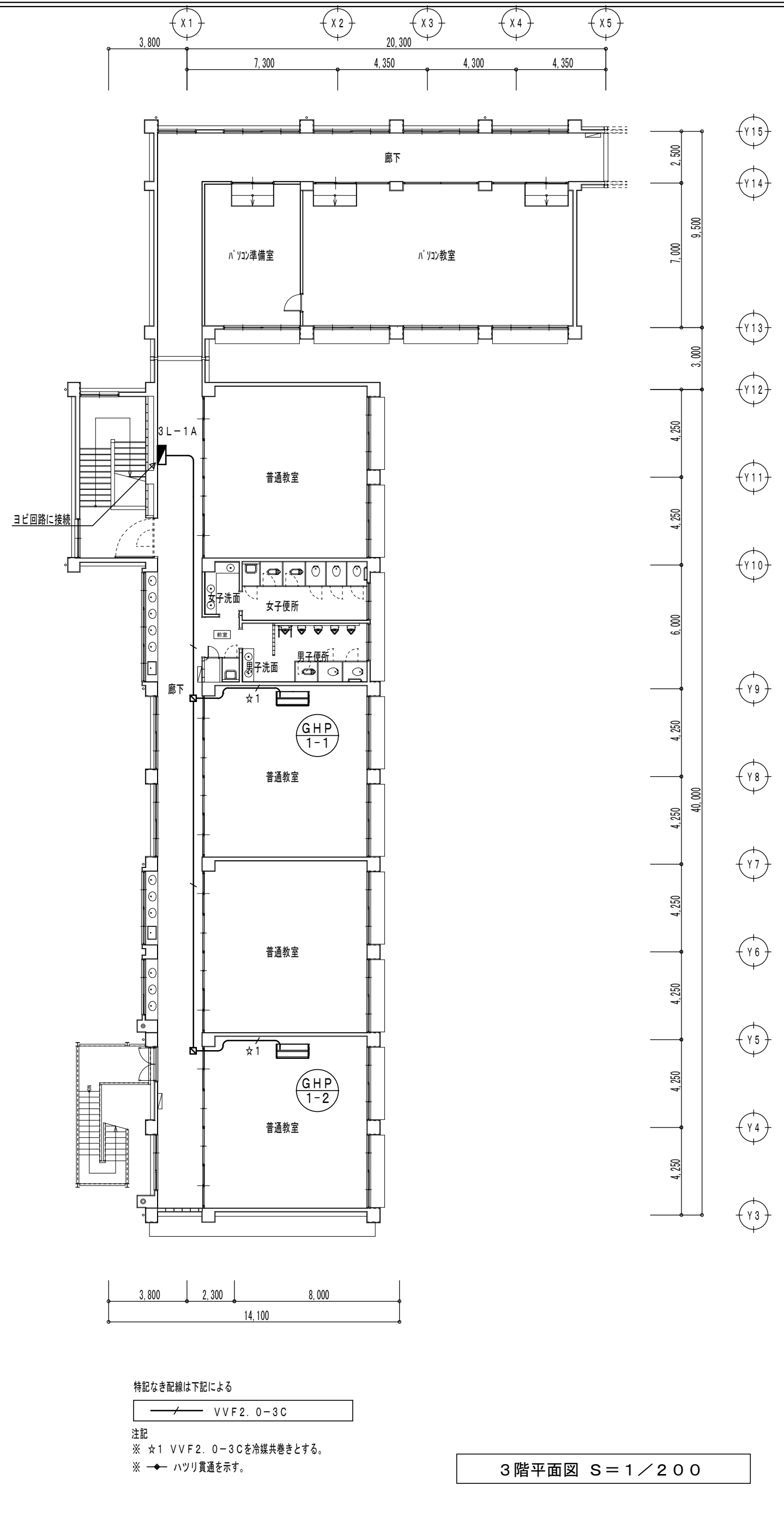
備考	 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆		設計代表者	設計担当者	SCALE	工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事 図面名称 普通教室・特別教室棟 電気設備 3階平面図 原図: A2
			一級建築士 No.134324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/200 A3 : 1/280 DATE	



1階 平面図 S=1/200



2階 平面図 S=1/200



3階 平面図 S=1/200

特記なき配線は下記による

— VVF2.0-3C

注記

※ ☆1 VVF2.0-3Cを冷媒共巻きとする。

※ → ハツリ貫通を示す。

編	
考	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者
 一級建築士 No.134324
 構造設計一級建築士 No.2300
 田端 隆

設計担当者
 一級建築士 No.352551
 田端 隆

SCALE	A2 : 1/200
	A3 : 1/280
DATE	

工事名称 津市立白塚小学校普通教室及び特別教室空調設備設置工事
 図面名称 特別教室棟 電気設備 1階・2階・3階平面図

E-07
 原図: A2